

# ライフ・スタイルの変容と政治意識の軌跡

## －「さいたま市民：政治に関する意識調査」(2013～2020)－

Transformation of the Life-Style and Trace of the Political Consciousness: Public Opinion Research  
“Saitama Shimin Seiji Isiki Chosa”(2013～2020)

松本 正生

Masao Matsumoto

### はじめに

#### 1. ライフ・スタイル

##### 1-1. コミュニケーション・ツール

##### 1-2. 社会の情報源

##### 1-3. 家庭の環境

### 2. 政治意識

#### 2-1. 内閣支持・不支持

#### 2-2. 政治・政治家への評価

#### 2-3. 政治家不信と内閣支持

#### 2-4. 情報源と内閣支持

まとめにかえて

資料

### 〈要旨〉

埼玉大学社会調査研究センターがアニュアルで実施する「さいたま市民：政治に関する意識調査（郵送調査）」の結果を概観する。8年間の推移を確認すると、とりわけコミュニケーションのあり様の変化が顕著であった。スマートフォン保有者の急増というデバイスの変化は、ツールのレベルにはとどまらず、コミュニケーション・スタイルの変容、情報源の転換、さらに、ライフ・スタイルそのものの変質をも引き起こすに至っている。しかも、現今の社会の変容は、若者よりも中高年が担い手となっている。

政治意識に関しては、一貫して、政治不満や政治家不信の高さが目立った。ただ、表面的には一様な現象も、年齢による相違が見受けられる。政治への不満は、若者で低く中高年で高い。これに対し、政治家への不信では、逆に、若者で高く年齢が上がるにつれて低くなる「若高ー老低」構図が存在した。わけても、18歳～29歳の最若年層は、政治への不満が低いにもかかわらず政治家不信は非常に高いという、やや不可解な特徴を示していた。一方、内閣支持率についても、「若高ー老低」型が存在する。政治家不信と安倍内閣支持とが両立する若者の心性の背後には、どのような位相が介在しているのだろうか。

This report presents an overview of the results of the “Saitama residents: Survey on Political Consciousness (postal survey)”, conducted annually by the Saitama University Social Survey Research Center. Looking at the changes over an eight-year period, changes at the device level, namely the rapid increase in smartphone ownership, have not only resulted in an exchange of tools, but have also transformed the style of communication, improved information sources, and altered the quality of people’s lifestyles. Furthermore, these social changes have been dominated by older people rather than the younger generation.

In terms of political consciousness, there was a consistently high level of political dissatisfaction and distrust of politicians. Political dissatisfaction is low among the youth and high among middle-aged and older people. Conversely, distrust of politicians is high among the youth and is lower among older people, resulting in a “young high-old low” pattern. The youngest age group aged 18 to 29 years have an extremely high level of distrust of politicians despite low political dissatisfaction. On the other hand, there is also a “young high-old low” pattern in the cabinet approval rating. The mentality of young people to be compatible with both distrust of politicians and support for the Abe government.

## はじめに

埼玉大学社会調査研究センターでは、年 1 回の定例調査として、「さいたま市民：政治に関する意識調査」を実施し続けてきた。同調査は、2013 年に開始し 2020 年には 8 回を数えるに至った。調査対象は、さいたま市(10 区)の有権者名簿から各区の有権者数に比例する形で抽出した 1,000 人、調査方法は郵送法を採用している。8 年にわたる調査の概要は、〔表 1〕の通りである(注 1)。

調査の内容には、政治に関するいくつかの質問を継続的に採用するとともに、国内のトピックやさいたま市の課題など時宜に応じた質問を数多く設定してきた。さらに、市長選挙や市議会議員選挙の際は、さいたま市選挙管理委員会と共同で有権者の投票行動に関する質問も採用した。また、ライフ・スタイルの実態やデモグラフィック指標については固定化し、フェイスシート項目に配置し続けてきた(調査票と単純集計結果については、後掲の資料を参照されたい)。

有効回収率が一貫して 60%台を保ち続け、継続質問の結果に関する時系列的推移の客観性が担保さ

れることに関しては、回答を返送してくださった、さいたま市民のみなさまに、ひたすら感謝申し上げる次第である。

本小論では、継続的に採用してきた質問に対する回答結果に焦点を当て、市民のライフ・スタイルの変容と政治意識の軌跡をトレースする。8 年間で変わったもの、変わらないもの、さらには変化の度合いや形状など、多元的な位相の一端を探索したい。

## 1. ライフ・スタイル

### 1-1. コミュニケーション・ツール

#### ・スマートフォンの保有率

ライフ・スタイルに関する経年の推移の中では、コミュニケーションや情報源に関して、大きな変化を確認することができる。

激変とも言うべき状況は、とりわけ、コミュニケーションのデバイスに存在する。先ず、〔表 2〕を参照されたい。「スマートフォンの保有率」は、2013 年の 39%から毎年直線的に増加し、2020 年には 82%

に到達するに至った。まさに「スマホの席卷過程」と表現できよう。スマホの保有率に関するさいたま市の結果は、各年の増加の度合い、比率の絶対値ともに、全国的な傾向とほぼ符合する。

年齢別のブレイクダウンは、〔表 3〕にまとめた。18~29 歳や 30 代の若年層では、以前から 9 割を超え飽和状態に達していた。これに対し、60 代以上の中老年層では、直近の 2,3 年の間に保有者が劇的に増加している。わけでも、70 代においては 2019 年の 44%からわずか 1 年間に 25%も増加し、2020 年には約 7 割という高比率を占めるに至った。

#### ・固定電話の保有率

他方、固定電話の保有率については、〔表 4〕に明らかなように、減少傾向にはあるものの、その度合いはそれほど大きくはない。相変わらず 8 割近くの家庭には固定電話が存在して

〔表 1〕さいたま市民「政治に関する意識調査」(郵送調査)

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
調査時期	5月	5月	5月	8月	7月	8月	6月	8月
有効回答数	694	616	610	622	653	628	602	624
同回収率	69%	62%	61%	62%	65%	63%	60%	62%

〔表 2〕スマートフォン保有率

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
全体	39	45	54	61	65	72	78	82

(%)

〔表 3〕スマートフォン保有率(年齢別)

	2016	2017	2018	2019	2020
18~29歳	100	98	100	97	98
30代	94	98	95	99	97
40代	87	84	90	94	97
50代	67	74	83	89	94
60代	41	51	63	69	74
70代	19	29	36	44	69
80歳以上	4	8	14	26	32

(%)

〔表 4〕固定電話保有率

2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
89	89	85	86	85	83	75	78

(%)

いる。

#### ・電話の使用状況

携帯電話と固定電話の関係については、保有率よりも使用状況を確認すると、より明確になる

〔表 5〕を参照されたい。「固定電話だけ」および「主に固定電話」という、いわば固定派が年々減少しているのに対して、携帯派、中でも「携帯電話だけを使う」という携帯オンリーの割合が顕著に増加している。

「固定だけ」＋「主に固定」＝「固定メイン」、「携帯だけ」＋「主に携帯」＝「携帯メイン」に集計し直した〔表 6〕を見ると、「固定メイン」－「携帯メイン」間の比率の相違は大きくなり続け、「携帯メイン」派が支配的なシェアを占めるに至ったことがわかる。固定電話とは、「持ってはいるが使わない」、言い換えるならば、「家にはあるが使用していない」ものになりつつあるようだ。

ここでいう携帯電話とは、旧来型の携帯電話、すなわち「ガラ携(折りたたみ携帯)」ではなく、スマートフォンに相当する。スマホを所有し、使用する人たちが社会の圧倒的多数を占めるようになったということは、単に「固定から携帯へ」という表象的なデバイスの変化にとどまらず、コミュニケーションのあり方の変容を意味する。スマホを通じたコミュニケーションが一般化することは、日常の対話はもちろん、仕事の場面でも、生(ナ)の声の

やりとりによる voice to voice ではなく、テキストメッセージを中心とした type to type に変わりつつあることを反映している。通話(talking)からメッセージ(typing)へ、いわば「ノン・スポークン(Non-spoken)」コミュニケーション社会への変容と表現することができよう。

## 1-2. 社会の情報源

次に、社会の情報源に関して確認したい。〔表 7〕は、「社会についての情報を得る際に、最も利用しているもの」を聞いた結果である(注 2)。「テレビ」が多数を占め続けているものの、比率は減少傾向にある。これに対して、「インターネット」は、2014 年の 15%から大きく増加し 2020 年には 36%と「テレビ」に迫る比率を占めるに至った。数年後には「テレビ」に代わり「インターネット」が情報源の主役となるであろうことは、容易に推測できよう。一方、「新聞」の減少傾向が止まらず、2020 年には一桁台に落ち込んでいる。「テレビ」と「新聞」に象徴されるオールド・メディアのシェアは、7 割から 5 割に減少している。

先に見たスマートフォンの席卷とは、単にコミュニケーション・ツールのレベルにはとどまらない。スマートフォンは、情報を取得するための不可欠なツールであり、その内容は SNS をも含むインターネット経由の情報にほかならない。今や、インターネットは人々にとってのライフ・ラインであり、スマホ画面のタイム・ライン情報が社会そのものになりつつある。スマートフォン＋インターネットは、不可分な必携デバイスとして、身体の一部と化しているように思われる。

ライフ・スタイルをめぐる社会の変容は、このところ、若者ではなく中高年が原動力となっている。中高年層の間に動きがあり、彼らに浸透することで社会のあり方が大きく変わる。ただし、その帰結は、「スマホ依存」とも表現すべき、

〔表 5〕種類別電話使用状況

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
固定電話だけを使う	12	11	11	9	9	8	8	9
携帯電話だけを使う	19	20	21	24	26	28	37	34
両方使うが主に固定電話	22	23	19	17	14	13	9	12
両方使うが主に携帯電話	37	36	40	41	41	42	37	38
両方とも同じ程度使う	10	9	8	7	9	6	7	6

(%)

〔表 6〕種類別電話使用状況

(固定メイン=固定だけ+主に固定、携帯メイン=携帯だけ+主に携帯)

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
固定メイン	34	34	30	26	23	21	17	21
携帯メイン	56	56	61	65	67	70	74	72

(%)

〔表 7〕社会の情報源(1つだけ)

	2014	2017	2018	2019	2020
テレビ	50	42	51	46	44
ラジオ	4	2	2	1	3
新聞	20	20	12	14	9
インターネット	15	20	33	31	36

(%)

【表 8】世帯状況

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
一人住まい	11	12	12	12	11	11	10	13
家族と同居	84	82	82	83	88	87	89	86

(%)

【表 9】住居形態

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
持ち家	78	75	77	77	76	78	75	76
賃貸	20	23	21	21	22	20	24	21

(%)

年齢を超越した均質化現象にほかならない。わずか数年の間に、人々のライフ・スタイルは、不可逆的な変貌を遂げたと言わざるを得ない。

### 1-3. 家庭の環境

#### ・世帯状況

大変貌の一方で、変わらないものも存在する。人々にとっての外的環境、たとえば、家庭の実態がそれに該当する。〔表 8〕は、世帯の状況について、「一人住まいか家族と同居か」を聞いた結果を示している。「一人住まい」、「家族と同居」の双方とも、割合にほとんど変化はみられない。

#### ・住居形態

次は、住居の形態、すなわち、「住まいは、持ち家か賃貸か」質問の結果をまとめた〔表 9〕を参照されたい。こちらも、世帯状況と同様に、「持ち家」、「賃貸」、それぞれの割合に変化はみられない。「持ち家」が 8 割弱、「賃貸」がほぼ 2 割で安定している。生活実態＝ライフ・スタイルでも、コミュニケーションや情報源といったソフト面とは異なり、世帯の人数や住居の形態など、人々を取り囲むハード面に関しては、変化のない日常が継続していることを確認できよう（注 3）。

## 2. 政治意識

### 2-1. 内閣支持・不支持

#### ・安倍内閣支持率

ここからは政治意識を取り上げたい。埼玉大学社会調査研究センターの定例世論調査の 8 年間は、くしくも第二次安倍晋三内閣の在任期間と重なる。〔表 10〕に、安倍内閣の支持率の推移をまとめた。われわれの調査では、内閣支持・不

支持に関して、「支持する」・「支持しない」の二択ではなく、「(大いに)支持する」・「ある程度支持する」・「あまり支持しない」・「(まったく)支持しない」の四択を採用している。表中の「支持」は「(大いに)支持する」と「ある程度支持する」の合計、「不支持」は「あまり支持しない」・「(まったく)支持しない」の合計に相当する。

長期政権の要因として、各種報道機関の世論調査で安定的な支持率を保持し続けたことがあげられる安倍政権だが、さいたま市民を対象とする調査においても、その一端を確認することができよう。加えて、いわゆる「森友問題」にゆれた 2018 年、「桜を見る会」問題とコロナウィルス感染拡大への対応に苦慮し辞任表明へと至った 2020 年には、支持率が顕著に低落している。こうした推移も、マスコミ世論調査による全国的傾向と符合する。

安倍内閣の特性として指摘されたのが、若年層での高支持率である。〔表 11〕の年齢別支持率をみると、全年齢階層の中では、やはり、18～29 歳や 30 代の若年層の比率が高く、年齢があがるにつれて支持率が低下するという、ゆるやかな「若高ー老低」型構造を確認することができる。しかも、右肩下がりの「若高ー老低」型は、支持率の増減にかかわらず、形状に変化は見られない。高支持率時だけでなく、支持率が低落する時にも若者の支持は比較的根強いという傾向が見受けられる。

【表 10】安倍内閣支持率

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
支持	66	56	51	53		36		35
不支持	28	40	47	41		57		60

(%)

【表 11】安倍内閣支持率

	2016		2018		2020	
	支持	不支持	支持	不支持	支持	不支持
18～29歳	58	31	45	35	42	52
30代	60	30	40	45	37	53
40代	53	42	45	47	39	52
50代	45	50	37	59	32	66
60代	55	41	25	73	27	69
70代	54	43	23	76	31	66
80歳以上	48	46	54	46	35	58
全体	53	41	36	57	35	60

(%)



【表 12】 安倍内閣支持 (2018)

	支持する	ある程度 支持する	あまり 支持しない	支持しない	わからない
18～29歳	8	37	26	9	20
30代	9	31	29	16	15
40代	4	41	24	23	6
50代	8	29	27	32	3
60代	4	21	22	51	2
70代	5	18	29	47	2
80歳以上	11	43	14	32	-
全体	6	30	25	32	6

(%)

ここで、視点を変えて「不支持率」に注目すると、年層間での比率の絶対値の差は、「支持率」以上に大きいことがわかる。とくに顕著なのが2018年で、18～29歳(35%)と70代(76%)とでは40ポイント強という大きな相違が存在する。同年の結果を四択に置き換えた〔表 12〕に明らかなように、「支持しない」の比率が18～29歳で極端に低くなっていることに起因する。どうやら、18～29歳や30代などの若年層には、「支持しない」とは答えない(ないしは、選択しない)という特性があるようだ。

支持率と不支持率とが逆転し、世間の批判が高まりをみせても、「若者の不支持」には直結しない。若者における安倍支持とは、積極的な支持というよりも、「現状を受動的に許容していることの投影」のように思われる。〔表 12〕における「わからない」回答の比率の高さを考え合わせれば、「無意識の支持」と捉え直した方が妥当なのかもしれない。いずれにせよ、解釈は難しい。

## 2-2. 政治・政治家への評価

### ・政治満足度と政治家信頼度

ここからは、政治に対する満足度と政治家への信頼度についてみていこう。〔表 13〕を参照され

【表 13】 政治満足度

	2016	2018	2020
満足	23	20	18
不満足	69	71	76

(%)

【表 14】 政治家信頼度

	2016	2018	2020
信頼できる	28	23	19
信頼できない	67	72	76

(%)

たい。「現在の政治に対してどの程度満足しているか」を「大いに満足している」・「だいたい満足している」・「やや不満足である」・「大いに不満足である」の四択で聞いた結果である。表中の「満足」は「大いに満足している」+「だいたい満足している」を、「不満足」は「やや不満足である」+「大いに不満足である」の比率を示している。

「満足」対「不満足」は2016年を起点にすると、2割：7割で、不満が大多数を占めている。不満の値は年を経るごとに上昇し、2020年には76%に達する。「不満足」比率の推移は、先ほどの安倍内閣の「不支持率」の軌跡と重なり合う。

次に、政治家への信頼度はどうだろうか。「日本の政治家(国会議員、地方議員、首長など)について、どんな印象を持っていますか」と聞き、「とても信頼できる」・「ある程度信頼できる」・「あまり信頼できない」・「全く信頼できない」の四択で回答を求めた結果である。〔表 14〕の数値は、「信頼できる」=「とても信頼できる」+「ある程度信頼できる」、「信頼できない」=「あまり信頼できない」+「全く信頼できない」に相当する。

時宜の値、推移、ともに、政治満足度とほぼ同一の結果が存在する。すなわち、「信頼できる」<「信頼できない」の大小関係および「信頼できない」が大多数を占めること、「信頼できない」の値は年を経るごとに上昇し、2020年には76%に達すること、さらに、「信頼できない」比率の推移が安倍内閣の「不支持率」の軌跡と重なり合うことなど、すべての傾向に関して政治満足度と符合する。二つの指標は、ほぼ同義の意味合いを持つと解釈することが可能であろう。

ところが、年齢にブレイクダウンすると、別次元の位相が現出し、政治満足度と政治家信頼度は、脈絡を異にすることが判明する。まず、政治満足度に関する〔表 15〕(次ページ)を参照されたい。満足度が低く、不満度が非常に高いという共通傾向の中で、若年層、とりわけ18～29歳の最若年層については、2016年の「満足」、2018年の「不満足」、2020年の「満足」など、他の年代と比べ値に顕著な相違が見受けられる。若者は、常に「満足度」が(相対的に)高く、「不満度」が(相対的に)低い傾向にある。

今度は〔表 16〕で、政治家信頼度について確認してみよう。政治満足度とは逆に、18～29歳を中

心とする若年層は信頼度が非常に低く、不信度が高いことがわかる。「信頼できる」の「若低―老高」、「信頼できない」の「若高―老低」という、政治満足度とは反対の年層構造が存在している。

この位相をどう解釈したらよいのか。

〔図1〕は、大多数の割合を占める「政治不満」回答と「政治家不信」回答とを年齢別にプロットしたものである。各年の形状に共通傾向が見受けられ、2つの指標の関係は、若年層で「政治不満」＜「政治家不信」、中高年層で「政治不満」≥「政治家不信」を示している。

何より注目すべきは、30代以上のすべての年代においては「政治不満」と「政治家不信」の比率にそれほど相違が存在しないのに対し、18～29歳だけは、比率の差が非常に大きいこと、それは「政治不満」の度合いの低さに起因していることである。政治に対する不満が低いにもかかわらず、政治家不信は非常に高い、若年層におけるこの傾向差については、一般的な政治に関するリアリティが希薄な一方で、メディアを通じた政治家のマイナス・イメージが政治を認識する契機となっているという推測が成り立つかもしれない（注4）。

〔表15〕政治満足度（年齢別）

	2016		2018		2020	
	満足	不満足	満足	不満足	満足	不満足
18～29歳	31	54	26	46	30	62
30代	24	66	15	71	16	78
40代	22	72	25	68	19	78
50代	15	79	17	78	11	83
60代	22	71	15	80	17	80
70代	27	67	18	79	17	79
80歳以上	24	61	35	62	23	61
全体	23	69	20	71	18	76

(%)

〔表16〕政治家信頼度（年齢別）

	2016		2018		2020	
	信頼できる	信頼できない	信頼できる	信頼できない	信頼できる	信頼できない
18～29歳	14	75	15	74	15	80
30代	22	72	20	77	12	81
40代	26	70	19	74	22	72
50代	24	72	23	74	14	85
60代	31	64	23	74	20	78
70代	39	59	27	70	23	73
80歳以上	37	52	54	43	30	58
全体	28	67	23	72	19	76

(%)

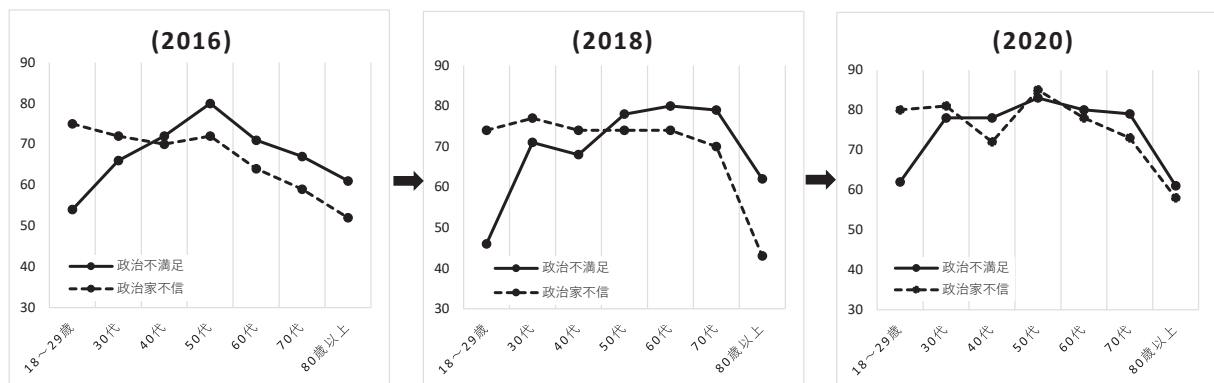
## 2-3. 政治家不信と内閣支持

〔表16〕や〔図1〕でみたように、「政治家不信」の比率には「若高―老低」という構図が付随する。「若高―老低」型の構図は、先の安倍内閣支持率と符合する。

ここで、政治家信頼度と内閣評価（支持・不支持）とのクロス集計結果を、〔表17〕で確認してみよう。政治家を「信頼できる」とする信頼派と「信頼できない」とする不信派とでは、安倍内閣に対する支持・不支持の大小関係が明確に逆転しており、政治家信頼度が、内閣への評価（支持・不支持）を弁別する要素となっていることが示唆される。

しかしながら、年齢に細分化すると、信頼派=支持、不信派=不支持という図式は、いささか単純な解釈に過ぎることが判明する。確かに、信頼派に関しては、支持＞不支持という年齢を超越した傾向が存在する。ただ、不信派については、年齢による相違が非常に大き

〔図1〕「政治不満」と「政治家不信」（年齢別）



〔表 17〕政治家信頼度 × 内閣支持・不支持

		2016		2018		2020	
		支持	不支持	支持	不支持	支持	不支持
全体	信頼できる	77	22	67	29	27	35
	信頼できない	44	50	27	68	27	69

(%)

〔表 18〕「政治家を信頼できない」人たちの内閣評価（年齢別）

		2016		2018		2020	
		支持	不支持	支持	不支持	支持	不支持
18～29歳	信頼できない	55	35	35	44	35	58
30代	信頼できない	51	37	36	54	34	60
40代	信頼できない	42	51	40	56	29	65
50代	信頼できない	41	54	25	74	31	69
60代	信頼できない	45	52	17	82	19	78
70代	信頼できない	42	56	12	88	23	76
80歳以上	信頼できない	25	71	25	75	18	82

(%)

い。〔表 18〕は、「(政治家を)信頼できない」と回答した人たちの、安倍内閣に対する支持率・不支持率をまとめたものである。支持率に関して「若高一老低」型構図が読み取れよう。しかも、若年層は、表中 2016 年の 18～29 歳および 30 代の数値に明らかのように、不信派にもかかわらず、支持 > 不支持という信頼派と同様の傾向を示している。少なくとも、政治家信頼度が内閣への評価(支持・不支持)を弁別するという、先の解釈とは矛盾する。

次に、〔図 2〕を参照されたい。図中の数値は、「政治家を信頼できない」と回答した人たちの安倍内閣評価を、「支持する」－「支持しない」の差し引き比率として算出した結果である。「支持」>「不支持」であればプラスの値が、「支持」<「不支持」であればマイナスの値が表示される。2016 年の形状をみると、18～29 歳と 30 代は値がプラスとなっており、他の年代も、80 歳以上を除きマイナスではあるものの、その値は小さいことが判明する。わけても、18～29 歳の+20 や 30 代の+14 とは、「政治家は信頼しない」と「安倍内閣支持」とが両立することを示唆している。

安倍内閣の支持率が低落した 2018 年や 2020 年においても、18～29 歳をはじめとする若年層は、マイナスではあるものの絶対値は非常に小さい。少なくとも、政治家不信が内閣不支持には直結しないことは明らかだろう。

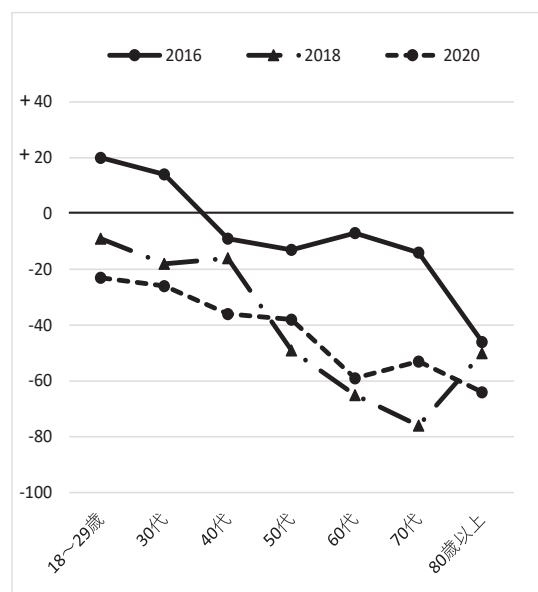
内閣総理大臣(首相)とは、日本の政治家の代表、

言い換えるならば、政治家の象徴である。だとすれば、若者において「信頼できない」が極めて高い比率を占めるその対象としての「政治家」とは、誰が該当するのだろうか。

もちろん、逆の脈絡も成り立ち得る。つまり、政治家一般に関するネガティブなイメージを持つ若者にとって、安倍晋三首相は政治家の負のイメージを払拭する存在であるのではないかという解釈だ。ただ、先にみた「不支持ではない(無意識の)支持」という解釈を前提にすれば、若者の安倍支持とは、単にデフォルトとしての支持

なのかもしれない。つまり、調査票の「支持する」をチェックすることは、正解の選択に相当するというほどの意味合いだ。「政治家不信」と「内閣支持・不支持」の関係性とは、『にもかかわらず…』なのか、『それとこれとは別次元のことがら』なのか。残念ながら、これ以上の解釈に踏み込むには、依拠すべき変数があまりに少ない。

〔図 2〕「政治家を信用できない」人たちの安倍内閣評価(支持－不支持：差し引き比率)



## 2-4. 情報源と内閣支持

最後に、社会の情報源と内閣支持との関係を確認してみよう。

〔表 19〕は、「社会についての情報源」と内閣支持・不支持とのクロス集計結果を示している。なお、2016 年については「2 つまで」の選択を求めている、「もっとも利用しているものを 1 つ」選んでもらった 2018 年および 2020 年とは異なる。

3 回の結果からは、支持率が高い順に「インターネット」>「テレビ」>「新聞」、不支持率はその逆で、「新聞」>「テレビ」>「インターネット」という共通傾向を確認できる。とくに、2018 年でその傾向が顕著である。年齢に応じて主要情報源が異なることの反映と推測されよう。安倍内閣の支持率の特徴が、「若高―老低」型であったことを想起されたい。

次に、テレビ、新聞、インターネット、それぞれに関して、「普段、政治のニュースをどの程度見た

り、読んだりするか」を聞いた結果を、〔表 20〕にまとめた。三つのメディアへの接触度を比較すると、「ほぼ毎日」の割合はテレビが常に最も高いこと、新聞とインターネットについては、2016 年以降のわずかな年間で、新聞>インターネットからインターネット>新聞へと逆転している。新聞の比率に変化はなく、むしろ若干ではあるが増大傾向にあるにもかかわらず大小関係に逆転が生じているのは、インターネットへの接触度が直線的に増加していることに起因する。

「まったく見ない」を基準に各メディアへの接触頻度を見ると、テレビは 3~4% と非常に小さい割合で一貫している。これに対し、新聞は比率が年々顕著に増大し、2020 年には約 4 割に達しており、世間の「新聞ばなれ」が明白となる。ただ、2018 年と 2020 年とを比べると、テレビ、新聞とも「ほぼ毎日」の比率が増加しており、とくにテレビへの接触度の増加が大きいこともわかる。コロナ禍の影響で在宅時間が増加したこともあり、

オールド・メディアの情報源としての社会的価値が見直されていることが示唆されよう。

「ほぼ毎日」に関して、年齢別にまとめた結果が〔表 21〕である。何より、インターネットの比率がすべての年代で大きく増加していることが注目される。比率の大小にかかわらず、テレビと新聞については、2018 年と 2020 年との間で、比較的若い年齢層で増加傾向にあることが見受けられよう。

インターネットの数値を詳しく見ると、接触度の最も高い年代が、18~29 歳・30 代・40 代(2016) → 30 代・40 代・50 代(2018) → 40 代・50 代・60 代(2020) と、若年層から中年層にシフトしつつあることが判明する。先の〔表 19〕を再び参照すれば、2018 年には非常に大きかったインターネットとテレビ・新聞との間の内閣支持率および不支持率の相違が、2020 年には明確に減少し、ほぼ似通った値に変化している。従来は新聞やテレビで視聴した情報を、インターネットで取得するようになった人たちが増加したと推測される。ただ、同じ「政治ニュース」とはいっても、新聞やテレビというオールド・メ

〔表 19〕 社会の情報源×内閣支持・不支持

	2016		2018		2020	
	支持	不支持	支持	不支持	支持	不支持
テレビ	54	41	35	60	33	62
新聞	50	45	28	71	32	63
インターネット	58	36	45	44	36	58

(%)

〔表 20〕 政治ニュースを見る頻度

テレビ			
	2016	2018	2020
ほぼ毎日	54	56	70
週に 1 回以上	25	22	16
あまり見ない	17	16	9
まったく見ない	3	4	4
わからない	0	1	1
(%)			
新聞			
	2016	2018	2020
ほぼ毎日	26	29	33
週に 1 回以上	21	13	10
あまり見ない	27	24	17
まったく見ない	21	32	39
わからない	1	1	1
(%)			
インターネット			
	2016	2018	2020
ほぼ毎日	22	31	47
週に 1 回以上	20	19	18
あまり見ない	23	23	13
まったく見ない	28	24	18
わからない	2	2	2



〔表 21〕政治ニュースを見る頻度（年齢別）

テレビ：ほぼ毎日			
	2016	2018	2020
18～29歳	32	26	55
30代	35	38	53
40代	48	49	65
50代	56	59	69
60代	69	73	78
70代	64	71	85
80歳以上	65	78	77
全体	54	56	70

(%)

新聞：ほぼ毎日			
	2016	2018	2020
18～29歳	3	6	8
30代	7	5	9
40代	13	17	23
50代	28	24	32
60代	41	47	43
70代	50	51	52
80歳以上	41	54	60
全体	26	29	33

(%)

インターネット：ほぼ毎日			
	2016	2018	2020
18～29歳	32	26	45
30代	30	32	49
40代	30	46	66
50代	19	34	62
60代	17	29	52
70代	11	20	31
80歳以上	4	8	7
全体	22	31	47

(%)

ディアの報道で読み聴きするのと、インターネット(ウェブ)の検索サイトで確認するのとでは、質と量両面に関する相違が介在するようにも思われる。

さらに、一般的な表現としては『インターネット』で通用するものの、年齢や時期に応じて、そのアクセス先やコンテンツ内容は大きく異なり、『インターネット』という用語で一括することの妥当性が問われるに至っている。インターネット自体の変容が急速に進んでいるからにはほかならない(注5)。継続調査に付随する課題とはいえ、質問設定の難しさは如何ともしがたい。

## まとめにかえて

埼玉大学社会調査研究センターがアニュアルで実施する「さいたま市民：政治に関する意識調査」の結果を概観してきた。同一質問に対する8年間の推移を確認すると、とりわけコミュニケーションのあり様の変化が顕著であった。スマートフォン保有者の急増というデバイスの交代は、ツールのレベルにはとどまらず、声からメッセージへとというコミュニケーション・スタイルの変容、既存のメディアからインターネットへとという情報源の転換、さらに、ライフ・スタイルそのものの変質をも引き起こすに至った。しかも、現今の社会の変容は、若者よりも中高年が担い手となっている。

政治意識に関しては、政治不満や政治家不信の高さなど、表面的には一様に思われる現象も、属性にブレイクダウンすると、年齢に応じた相違が見受けられた。政治への不満は、若者で低く中高年で高かった。これに対し、政治家への不信では、逆に、若者で高く年齢が上がるにつれて低くなる「若高一老低」構図が存在した。とりわけ、18歳～29歳の最若年層は、政治への不満が低いにもかかわらず政治家不信は非常に高いという、やや不可解な特徴を示していた。一方、内閣支持率についても、「若高一老低」型が存在する。政治家不信と安倍内閣支持とが両立する若者の心性の探索のためには、さらなる媒介変数が不可欠である。これ以上の解釈は慎まなければならないだろう。

政治社会の情報源であるメディアについては、オールド・メディア(新聞・テレビ)からインターネットへとという不可逆的な大きな流れが存在する。ただ、インターネットにおける多様化・多元化、言い換えれば、インターネット自体の変容が急速に進んでおり、年齢や時期によるコンテンツの相違が目立つようになった。

時系列推移を探索する継続調査では、同一のクエッションネアの採用が必須の要件であるが、同時に、質問内容自体のバッテリーとしての耐用年数を見計らうことも肝要である。今後の調査続行のために越えるべき課題は、もちろん、それだけにはとどまらない(注6)。

(埼玉大学社会調査研究センター長)

(注)

- 1) 埼玉大学社会調査研究センターでは、2011 年と 2012 年にも、さいたま市民を対象とした「政治に関する意識調査」を郵送法により実施している。ただし、この 2 回の調査は、対象者を中央区・桜区・南区の 3 区の有権者に限定しており、市内の全 10 区の有権者を対象とするようになった 2013 年以降とは異なる。したがって、2011 年および 2012 年調査の結果については、今回の時系列比較には使用しない。
- 2) 社会の情報源質問は、表中の年度以外の調査においても採用している。しかしながら、他の年度では選択数を「2 つまで」にしており、比較基準を統一するため、「1 つだけ」を採用した年度に限定した。
- 3) 「さいたま市民：政治に関する意識調査」では、毎年 6 割以上の回収率を得ており、同一質問に対する回答結果の経年推移の客観性が確保される。とはいえ、常に、3 割以上の未回収票 = 暗数部分が存在することから、回答者の属性構成に一定の偏りが付随することは否めない。下掲の〔表 22〕は、さいたま市における有権者の年齢別構成と調査回答者の年齢別構成を比較したものである。表中の数値に明らかなように、20 代の若年層の比率が実態よりも低いことからすると、世帯状況に関しては「一人住まい」の割合を、住居形態に関しては「賃貸」の比率を若干多めに見積もる必要があろう。
- 4) こうした特徴は、埼玉大学社会調査研究センターが、さいたま市の市立高校 4 校の 1～3 年生を対象に定期的に実施している「高校生政治意識調査」の結果にも存在する。「政治家信頼度」は、「政治満足度」に比べてマイナスの度合いが極めて大きく、高校生が政治を認知する起点が政治家のネガティブ・イメージにあるという推測が成り立った。スキャンダルや不祥事など、メ

ディア、とりわけ SNS などの映像メディアを通じた政治家の姿が、彼らにとっての「リアルな政治との遭遇」のように思われた。詳しくは、『政策と調査』第 12 号(2017.3)および第 14 号(2018.3)を参照されたい。

- 5) 先の注 4) で紹介したさいたま市の高校生調査の結果からは、若者が社会を認知する不可欠な手段が SNS であることが明らかとなる。インターネットでニュースを見る頻度の増加についても、LINE ニュースや You Tube 動画による「ニュース」への接触度を反映していることが示唆される。加えて、若者の情報ツールやアクセスするプラットフォームが、日々更新され変容している様子をうかがい知ることできる。詳しくは、『政策と調査』第 18 号(2020.3)を参照されたい。
- 6) 各年の調査票と回答結果、さらには属性(性・年齢)別のクロス集計結果に関しては、該当年の『政策と調査』に資料解題を付して掲載している。以下に、調査年と『政策と調査』の該当号とを示す。2013 年―第 5 号(2013.11)、2014 年―第 7 号(2014.11)、2015 年―第 9 号(2015.11)、2016 年―第 11 号(2016.11)、2017 年―第 13 号(2017.12)、2018 年―第 16 号(2019.3)、2019 年―第 17 号(2019.12)、2020 年―第 19 号(2020.11)。なお、『政策と調査』のバックナンバーは、すべて埼玉大学社会調査研究センターのウェブサイトに掲載している(<http://ssrc-saitama.jp>)。

毎回の調査実施および結果の集計については、埼玉大学社会調査研究センターの菱山智香子さんの多大な貢献に依拠している。記して謝意に代えたい。

〔表 22〕有権者の年齢構成と調査回答者の年齢構成

	2013		2015		2017		2019	
	有権者	回答者	有権者	回答者	有権者	回答者	有権者	回答者
18・19歳					2	2	2	1
20代	13	8	13	8	12	7	12	8
30代	18	17	17	14	15	14	15	14
40代	20	21	21	19	20	19	20	21
50代	15	16	15	16	15	16	16	18
60代	16	18	15	16	15	17	13	13
70代	18	19	12	17	12	16	13	19
80歳以上			7	8	7	8	8	5

※2013年は70歳以上

(%)

さいたま市選挙管理委員会  
埼玉大学社会調査研究センター  
「政治に関する意識調査」 2013 年 5 月

整理番号

(694/1,000) 69%

さいたま市選挙管理委員会では、埼玉大学社会調査研究センターと共同で、いまの政治への見方や選挙への対応などを有権者のみなさまにお聞きし、これからのさいたま市のあり方を考える材料にしたいと考えております。

さいたま市内 10 区の選挙人名簿から、無作為に 1000 人の方を抽出したところ、あなた様にご協力をいただくことになりました。ぜひ、ご意見をお聞かせください。回答いただいた内容は、統計的に処理して「〇〇に賛成△△%」といった形で分析しますので、お名前や具体的な回答内容が外部に出ることはありません。また、ご記入の調査票は裁断し、情報管理を徹底します。

この調査には、ご本人様にご回答ください。右上にある「整理番号」は、調査票が返送されたかどうかの確認や集計を匿名で行うためのものです。お名前を書いていただく必要はありません。

誠に恐縮ですが、6月7日（金）までに、同封の封筒にてご返送くださいますようお願いいたします。

お問い合わせ＞埼玉大学社会調査研究センター（担当・岸本）Tel:048-858-3120 および 090-6563-5249 Fax:048-858-3120  
e-mail: ssr@gr.saitama-u.ac.jp

この下の Q1 からお答えください

Q1. あなたは、今の日本の政治のあり方に、どの程度満足していますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1	2	3	4	5	6
かなり満足	まあ満足	いどちらでもない	やや不満	かなり不満	その他
0%	10%	27%	34%	28%	1%

Q2. あなたは誰かと政治的な事柄を話題にしたり、議題にしたりすることがありますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1	2	3	4	5	6
毎日ある	か週あにる何回	ぐ週らにいい度ある	まったくくない	その他	わからない
3%	19%	48%	15%	12%	3%

Q3. あなたは、安倍内閣を支持しますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 大いに支持する	6%
2. ある程度支持する	60%
3. あまり支持しない	21%
4. まったく支持しない	7%
5. その他	6%

Q4. それでは、あなたは、ふだん、さいたま市政についてどの程度関心を持っていますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 非常に関心を持っている	11%
2. 多少は関心を持っている	47%
3. あまり関心を持っていない	35%
4. 全く関心を持っていない	5%
5. わからない	3%

Q5. あなたは、さいたま市には、合併前の旧市間の地域対立が残っていると思いますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 非常に残っている	11%
2. ある程度残っている	42%
3. あまり残っていない	13%
4. 全く残っていない	3%
5. わからない	31%

Q6. あなたは、さいたま市のPRキャラクター「つなが竜ヌウ」を知っていますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 知っている	48%
2. 知らない	46%
3. わからない	6%

次のページの Q7 に進んでください



Q7. 5月19日の市長選について、あなた自身は、どれくらい関心がありましたか。1つ選んで番号に○をつけてください。

- |               |     |
|---------------|-----|
| 1. 非常に関心があった  | 16% |
| 2. 多少は関心があった  | 41% |
| 3. あまり関心がなかった | 30% |
| 4. 全く関心がなかった  | 11% |
| 5. わからない      | 1%  |

Q8. あなたは、5月19日の市長選で、投票しましたか。1つ選んで番号に○をつけてください。

- |            |     |                    |
|------------|-----|--------------------|
| 1. 投票した    | 52% | } 右上の Q8D に進んでください |
| 2. 投票しなかった | 46% |                    |
| 3. わからない   | 1%  | } 右下の Q9 に進んでください  |

### 「1. 投票した」と答えた方への質問

Q8A. 当日投票しましたか、それとも期日前投票又は不在者投票をしましたか。1つ選んで番号に○をつけてください。

- |                   |     |
|-------------------|-----|
| 1. 当日投票をした        | 78% |
| 2. 期日前投票・不在者投票をした | 21% |

Q8B. あなたは、市長選挙で候補者を選ぶ時、どういう点を考えて投票する人を決めたのですか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- |                          |     |
|--------------------------|-----|
| 1. 地元の利益を考慮して            | 30% |
| 2. 自分と同じような職業の利益を考慮して    | 5%  |
| 3. 自分と同じような世代の利益を考慮して    | 11% |
| 4. 候補者の政策や主張を考慮して        | 63% |
| 5. 候補者の人柄を考慮して           | 25% |
| 6. テレビや新聞、雑誌などで親しみを感じていた | 3%  |
| 7. 家族や知人のすすめだったから        | 6%  |
| 8. その他                   | 12% |
| 9. わからない                 | 2%  |

Q8C. 市長選挙で、投票する人を決めたのはいつ頃でしたか。1つ選んで番号に○をつけてください。

- |                       |     |
|-----------------------|-----|
| 1. 選挙期間に入る前から（5月4日以前） | 28% |
| 2. 選挙期間に入った時（5月5日（日）） | 28% |
| 3. 投票日の4日以上前          | 14% |
| 4. 投票日の2、3日前          | 12% |
| 5. 投票日の前日（5月18日（土））   | 5%  |
| 6. 投票日当日（5月19日（日））    | 13% |
| 7. わからない              | 1%  |

続けて右横のQ9に進んでください

### 「2. 投票しなかった」と答えた方への質問

Q8D. 投票しなかったのは、なぜですか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- |                                |     |
|--------------------------------|-----|
| 1. 仕事があったから                    | 16% |
| 2. 重要な用事（仕事を除く）があったから          | 23% |
| 3. 病気だったから                     | 5%  |
| 4. 体調がすぐれなかったから                | 12% |
| 5. 投票所が遠かったから                  | 2%  |
| 6. 面倒だから                       | 9%  |
| 7. 選挙にあまり関心がなかったから             | 25% |
| 8. 政策や候補者の人物像など、違いがよくわからなかったから | 23% |
| 9. 適当な候補者がいなかったから              | 12% |
| 10. 私一人が投票してもしなくても同じだから        | 7%  |
| 11. 選挙によって政治はよくなると思った          | 7%  |
| 12. 今住んでいる所に選挙権がないから           | 1%  |
| 13. 天候が悪かったから                  | 0%  |
| 14. その他                        | 9%  |
| 15. わからない                      | 0%  |

続けて下のQ9に進んでください

### ここからはまた全員への質問です

Q9. 5月19日の市長選で、直接見たり、聞いたりしたものが下記の中にありますか。あればすべて選んで○をつけてください。

- |                          |     |
|--------------------------|-----|
| 1. 選挙公報                  | 35% |
| 2. 候補者の新聞広告              | 22% |
| 3. 新聞・雑誌の報道              | 24% |
| 4. 候補者のビラ                | 28% |
| 5. 掲示場にはられた候補者のポスター      | 54% |
| 6. 候補者の葉書                | 8%  |
| 7. 個人演説会                 | 4%  |
| 8. 候補者の街頭演説              | 16% |
| 9. 電話による勧誘               | 3%  |
| 10. 選挙運動自動車からの連呼         | 26% |
| 11. インターネット・ホームページ上の選挙情報 | 4%  |
| 12. この中のどれも見聞きしなかった      | 7%  |
| 13. わからない                | 2%  |

次に右上のQ10に進んでください



**Q10. 今回の市長選挙では、選挙公報がさいたま市の選挙のホームページから見られるようになりましたが、ご覧になりましたか。1つ選んで番号に○をつけてください。**

- |          |     |
|----------|-----|
| 1. 見た    | 5%  |
| 2. 見ない   | 88% |
| 3. わからない | 6%  |

**Q11. きれいな選挙の実現や投票率向上のために、市の選挙管理委員会と協力して活動する明るい選挙推進協議会があります。あなたはさいたま市・区明るい選挙推進協議会をご存知ですか。1つ選んで番号に○をつけてください。**

- |          |     |
|----------|-----|
| 1. 知っている | 11% |
| 2. 知らない  | 81% |
| 3. わからない | 7%  |

**Q12. さいたま市の選挙キャラクター「みらいくん」(封筒の表に記載されています)をあなたは見たことがありますか。1つ選んで番号に○をつけてください。**

- |          |     |
|----------|-----|
| 1. ある    | 19% |
| 2. ない    | 71% |
| 3. わからない | 8%  |

**Q13. 5月19日の市長選でさいたま市選挙管理委員会及び明るい選挙推進協議会等が「投票に参加しましょう」という呼びかけを行いました。下記の中であなたが見たり聞いたりしたものがあれば、すべて選んで番号に○をつけてください。**

- |   |     |
|---|-----|
| 1. 市役所・区役所でののぼり旗やステッカー                      | 16% |
| 2. 広告塔(市役所敷地内)横断幕懸垂幕(駅や市・区役所)               | 10% |
| 3. 市役所・区役所の電光掲示板                            | 3%  |
| 4. 啓発ポスター(自治会掲示板等)                          | 19% |
| 5. 選挙のごあんない(公共施設等に配置)                       | 11% |
| 6. 投票所整理券に同封されている啓発チラシ                      | 18% |
| 7. 市報さいたま                                   | 36% |
| 8. さいたま市広報車(候補者の選挙運動用自動車は含まない)              | 5%  |
| 9. 清掃自動車のフロント幕                              | 4%  |
| 10. 市役所・区役所の公用車ステッカー                        | 3%  |
| 11. 交通広告(駅・バス)                              | 9%  |
| 12. 啓発物(ウェットティッシュ)                          | 1%  |
| 13. 街頭(駅前など)・イベントなどでの啓発キャンペーン               | 5%  |
| 14. ラジオスポット広告                               | 1%  |
| 15. 大型映像広告(大宮アルシェ)                          | 1%  |
| 16. デパート百貨店・市役所・区役所でのアナウンス                  | 2%  |
| 17. さいたま市のホームページ(Facebook、ツイッター、メールマガジンを含む) | 2%  |
| 18. その他(具体的に→)                              | 1%  |
| 19. 見聞きしなかった                                | 27% |
| 20. わからない                                   | 9%  |

**Q14. ところで、今年の夏には、参議院選挙があります。今度の参議院選挙についてどの程度関心を持っていますか。1つ選んで番号に○をつけてください。**

- |                 |     |
|-----------------|-----|
| 1. 非常に関心を持っている  | 24% |
| 2. 多少は関心を持っている  | 47% |
| 3. あまり関心を持っていない | 22% |
| 4. 全く関心を持っていない  | 5%  |
| 5. わからない        | 1%  |

**Q15. 今年夏の参議院選挙の比例代表では、どの政党の候補者、あるいは、どの政党に投票しようと思いますか。1つだけ選んで番号に○をつけてください。**

- |       |       |          |       |         |       |        |       |          |           |
|-------|-------|----------|-------|---------|-------|--------|-------|----------|-----------|
| 1 自民党 | 2 民主党 | 3 日本維新の会 | 4 公明党 | 5 みんなの党 | 6 共産党 | 7 生活の党 | 8 社民党 | 9 その他の政党 | 10 決めていない |
| 30%   | 6%    | 3%       | 3%    | 3%      | 2%    | 0%     | 1%    | 0%       | 48%       |

**Q16. 憲法は、国会に衆議院と参議院を置くことを定めています。この二院制のあり方について、あなたの考えに最も近いものを、1つだけ選んで番号に○をつけてください。**

- |                             |     |
|-----------------------------|-----|
| 1. 衆議院と参議院を合併して一院制にする       | 24% |
| 2. 二院制を維持し衆議院と参議院の役割や権限を見直す | 47% |
| 3. 今のままでよい                  | 18% |
| 4. その他                      | 8%  |

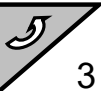
**Q17. ところで、あなたは、社会についての情報を何から得ていますか。多くの情報を得ているものを2つまで選んで番号に○をつけてください。**

- |                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| 1. テレビ                          | 74% |
| 2. ラジオ                          | 7%  |
| 3. 新聞                           | 50% |
| 4. インターネット[Twitter(ツイッター)なども含む] | 26% |
| 5. 家族や友人からの話                    | 8%  |
| 6. その他                          | 1%  |

**Q18. あなたの出身地はどこですか。1つだけ選んで番号に○をつけてください。**

- |                                  |     |
|----------------------------------|-----|
| 1. 埼玉                            | 43% |
| 2. 関東(茨城・栃木・群馬・千葉・東京・神奈川)        | 23% |
| 3. 北海道                           | 2%  |
| 4. 東北(青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島)         | 7%  |
| 5. 甲信越・北陸(新潟・富山・石川・福井・山梨・長野)     | 7%  |
| 6. 東海(岐阜・静岡・愛知・三重)               | 3%  |
| 7. 近畿(滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山)        | 4%  |
| 8. 中国(鳥取・島根・岡山・広島・山口)            | 2%  |
| 9. 四国(徳島・香川・愛媛・高知)               | 1%  |
| 10. 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄) | 6%  |

次のページの Q19 に進んでください



◆最後に、今回の調査結果を統計的に処理するために、いくつかおうえがいたします。

Q 1 9. あなたは男性ですか、女性ですか。

1. 男性 46%      2. 女性 53%

Q 2 0. あなたのお年は満でいくつですか。年齢をお書きください。

歳

20代 8%   30代 17%   40代 21%

50代 16%   60代 18%   70代～ 19%

Q 2 1. あなたが最後に在籍した（または現在在籍している）学校を1つだけ選んで番号に○をつけてください。

1. 中学校（旧制高等小含む） 8%  
2. 高校（旧制中学含む） 33%  
3. 高専・短大・専修学校 22%  
4. 大学（旧制高専含む） 33%  
5. 大学院（修士・博士） 3%  
6. わからない 0%

Q 2 2. あなたの職業は何ですか。次の中から1つだけ選んで番号に○をつけてください。

1. 経営者、役員、管理職 16%  
2. 正社員、正職員 26%  
3. 派遣社員 2%  
4. パート、アルバイト、契約、臨時、嘱託 20%  
5. 専業主婦（夫） 20%  
6. 学生 2%  
7. 仕事をしていない 14%

Q 2 3. あなたにはお子さんがいますか。

1. いる 69%      2. いない 30%

Q 2 4. あなたは一人住まいですか。それとも親や家族と同居されていますか。

1. 一人住まい 11%  
2. 親や家族と同居 84%  
3. その他 5%

Q 2 5. あなたは、さいたま市に住んでどのくらいになりますか。1つだけ選んで番号に○をつけてください。

1. 1年未満 2%  
2. 2, 3年 4%  
3. 4年～10年未満 12%  
4. 10年～20年未満 19%  
5. 20年以上 63%

Q 2 6. あなたの現在のお住まいは、次のうちどれですか。1つだけ選んで番号に○をつけてください。

1. 持ち家（一戸建て） 58%  
2. 持ち家（マンションなどの集合住宅） 20%  
3. 賃貸住宅（一戸建て） 2%  
4. 賃貸住宅（マンション、アパートなどの集合住宅） 16%  
5. 社宅・寮 2%  
6. その他 1%

Q 2 7. あなたのお宅には、家庭用の固定電話がありますか。（携帯電話のみの方は「2. ない」に○を）

1. ある 89%      2. ない 10%

Q 2 8. あなたは現在、スマートフォンを持っていますか。

1. はい 39%      2. いいえ 60%

Q 2 9. 最後に、あなたは、ご自宅で電話を使う場合、次のどれに当てはまりますか。次の中から1つだけ選んで番号に○をつけてください。

1. 固定電話だけを使う 12%  
2. 携帯電話だけを使う 19%  
3. 両方使うが主に固定電話 22%  
4. 両方使うが主に携帯電話 37%  
5. 両方とも同じ程度使う 10%  
6. 両方とも使わない 1%

ご協力ありがとうございます。

この回答用紙は、返信用封筒（切手が貼られているもの）に入れ、**6月7日（金）までに**、ご返送ください。早めにご投函いただければ幸いです。

この調査について、ご意見やご要望があれば、下の余白にご記入ください。

「あなたの意見は…」(政治に関する意識調査)

(616/1,000) 62%

突然の調査のお願い、恐縮に存じます。

埼玉大学社会調査研究センターでは、毎年5月に、さいたま市の市民のみなさまを対象に調査を実施し、いまの政治の見方や選挙への対応などについて、ご意見をお聞きしております。調査の結果は、埼玉大学社会調査研究センターのホームページで公表するとともに、新聞などでも報道されております。

さいたま市内10区の選挙人名簿から、無作為に1000人の方を抽出したところ、今回はあなた様にご協力をお願いすることになりました。お答えは、統計的に処理して「〇〇に賛成△△%」といった形で分析しますので、お名前や具体的な回答内容が外部に出ることはありません。

この調査には、ご本人がお答えください。右上にある「整理番号」は、調査票が返送されたかどうかの確認や集計を匿名で行うためのものです。お名前を書きいただく必要はありません。

誠に恐縮ですが、6月13日(金)までに、同封の封筒にてご返送くださいますようお願いいたします。

お問い合わせ先 → 埼玉大学社会調査研究センター(担当・菱山=ひしやま) Tel & Fax : 048-858-3120  
e-mail: ssrc@gr.saitama-u.ac.jp

ご回答は、特に指定がなければ、選択肢番号を  
1つだけ選んでマル(○)をつけてください。

Q1. あなたは、今の日本の政治のあり方に、どの程度満足していますか。

1	2	3	4	5	6
かなり満足	まあ満足	いどえちらないとも	やや不満	かなり不満	その他
1%	16%	27%	32%	23%	1%

Q2. あなたは誰かと政治的な事柄を話題にしたり、議題にしたりすることがありますか。次の中からお答えください。

1	2	3	4	5	6
毎日ある	か週あにる何回	ぐ週らにい一度る	まったくくない	その他	わからない
3%	18%	45%	20%	13%	1%

Q3. あなたは国や地方の政治にどの程度関心をもっていますか。

1. 非常に関心がある	10%
2. ある程度関心がある	65%
3. あまり関心がない	20%
4. 全然関心がない	3%
5. わからない	1%

Q4. あなたは、安倍内閣を支持しますか。

1. 大いに支持する	6%
2. ある程度支持する	50%
3. あまり支持しない	27%
4. まったく支持しない	13%
5. その他	3%

Q5. あなたは、上田清司・埼玉県知事を支持しますか。

1. 大いに支持する	4%
2. ある程度支持する	52%
3. あまり支持しない	23%
4. まったく支持しない	5%
5. その他	15%

Q6. あなたは、清水勇人・さいたま市長を支持しますか。

1. 大いに支持する	5%
2. ある程度支持する	50%
3. あまり支持しない	23%
4. まったく支持しない	7%
5. その他	15%

次のページの Q7 に進んでください



Q 7. あなたは、選挙権の有資格年齢を、現在の20歳から18歳に引き下げることに、賛成ですか、反対ですか。

- |          |     |
|----------|-----|
| 1. 賛成    | 40% |
| 2. 反対    | 44% |
| 3. わからない | 16% |

Q 8. 今の日本の政治を実際に動かしているのは誰だと思いますか。次の中から一つだけ選んでください。

- |           |         |         |             |          |           |          |            |
|-----------|---------|---------|-------------|----------|-----------|----------|------------|
| 1<br>国会議員 | 2<br>官僚 | 3<br>首相 | 4<br>国民一人一人 | 5<br>大企業 | 6<br>マスコミ | 7<br>その他 | 8<br>わからない |
| 15%       | 39%     | 12%     | 6%          | 6%       | 8%        | 3%       | 10%        |

Q 9. あなたは、次の中にある制度や組織、団体について、どの程度信頼していますか。

**A 「政党」**についてはどうですか。

- |            |                |                |             |            |
|------------|----------------|----------------|-------------|------------|
| 1<br>信頼できる | 2<br>ある程度信頼できる | 3<br>あまり信頼できない | 4<br>信頼できない | 5<br>わからない |
| 2%         | 20%            | 50%            | 21%         | 6%         |

**B 「国会」**についてはどうですか。

- |            |                |                |             |            |
|------------|----------------|----------------|-------------|------------|
| 1<br>信頼できる | 2<br>ある程度信頼できる | 3<br>あまり信頼できない | 4<br>信頼できない | 5<br>わからない |
| 1%         | 29%            | 48%            | 15%         | 6%         |

**C 「中央省庁」**についてはどうですか。

- |            |                |                |             |            |
|------------|----------------|----------------|-------------|------------|
| 1<br>信頼できる | 2<br>ある程度信頼できる | 3<br>あまり信頼できない | 4<br>信頼できない | 5<br>わからない |
| 1%         | 25%            | 41%            | 15%         | 17%        |

**D 「マスコミ」**についてはどうですか。

- |            |                |                |             |            |
|------------|----------------|----------------|-------------|------------|
| 1<br>信頼できる | 2<br>ある程度信頼できる | 3<br>あまり信頼できない | 4<br>信頼できない | 5<br>わからない |
| 1%         | 26%            | 39%            | 28%         | 6%         |

Q 10. あなたには、支持している政党がありますか。

- |         |         |            |
|---------|---------|------------|
| 1<br>ある | 2<br>ない | 3<br>わからない |
| 28%     | 62%     | 10%        |

Q 11. もし、いま衆議院が解散され総選挙があったとしたら、あなたはどの政党に投票しますか。

- |          |          |             |          |            |           |          |             |              |
|----------|----------|-------------|----------|------------|-----------|----------|-------------|--------------|
| 1<br>自民党 | 2<br>民主党 | 3<br>日本維新の会 | 4<br>公明党 | 5<br>みんなの党 | 6<br>結いの党 | 7<br>共産党 | 8<br>その他の政党 | 9<br>投票に行かない |
| 42%      | 9%       | 6%          | 5%       | 2%         | 1%        | 7%       | 9%          | 16%          |

Q 12. 4月から消費税が8%に引き上げられましたが、あなたはどの程度負担を感じていますか。

- |               |     |
|---------------|-----|
| 1. 非常に感じている   | 32% |
| 2. ある程度感じている  | 50% |
| 3. あまり感じていない  | 14% |
| 4. ほとんど感じていない | 2%  |

Q 13. 消費税率は、来年10月に、8%から10%への引き上げが予定されています。あなたは10%に引き上げることに賛成ですか、反対ですか。

- |          |     |
|----------|-----|
| 1. 賛成    | 22% |
| 2. 反対    | 63% |
| 3. わからない | 15% |

Q 14. あなたは、日本の消費税の税率は、将来、20%以上になると思いますか。そうは思いませんか。

- |            |     |
|------------|-----|
| 1. なると思う   | 42% |
| 2. そうは思わない | 34% |
| 3. わからない   | 24% |

Q 15. 現在、「集团的自衛権」に関する議論がなされています。あなたは「集团的自衛権」の定義や内容について、どの程度ご存知ですか。

- |              |     |
|--------------|-----|
| 1. よく知っている   | 4%  |
| 2. ある程度知っている | 51% |
| 3. あまり知らない   | 32% |
| 4. ほとんど知らない  | 10% |

「1. よく知っている」と答えた方

「2. ある程度知っている」と答えた方への質問

Q 15 A. 安倍内閣は、憲法解釈を変更して「集团的自衛権」の行使を容認しようと考えています。あなたは、これについてどう評価しますか。

- |                  |     |
|------------------|-----|
| 1. 全面的に認めるべきだと思う | 10% |
| 2. 限定的に認めるべきだと思う | 53% |
| 3. 認めるべきできないと思う  | 36% |

下のQ 16に進んでください

Q 16. 話は変わりますが、あなたは、原子力発電を利用することに、賛成ですか。反対ですか。

- |          |     |
|----------|-----|
| 1. 賛成    | 26% |
| 2. 反対    | 45% |
| 3. わからない | 23% |



Q 17. あなたは、日本が将来、原子力発電の利用を完全に止めることができると思いますか。そうは思いませんか。

- 1. できると思う 30%
- 2. そうは思わない 53%
- 3. わからない 16%

Q 18. 2020 年の東京オリンピック開催と合わせて、日本でもカジノを解禁しようとする動きがあります。あなたは日本にカジノは必要だと思いますか。

- 1. 必要だと思う 21%
- 2. 必要だと思わない 63%
- 3. わからない 15%

「3. わからない」と答えた方は  
右上の Q 19 に進んでください

#### 「1. 必要だと思う」と答えた方への質問

Q 18 A カジノが必要だと思う理由は何ですか。当てはまるものに○をつけてください（いくつでも）。

- 1. 海外からの観光客を増やせるから 51%
- 2. 課税対象とすることで税収が見込めるから 66%
- 3. 違法カジノを排除することができるから 22%
- 4. 地域の活性化につながるから 31%
- 5. 新たな雇用が創出できるから 38%
- 6. カジノを中心に商業都市を展開できるから 32%
- 7. カジノ収益の一部を震災復興に充てられるから 19%
- 8. その他 ( ) 2%

→ 続けて右上の Q 19 に進んでください

#### 「2. 必要だと思わない」と答えた方への質問

Q 18 B カジノは必要ないと思う理由は何ですか。当てはまるものに○をつけてください（いくつでも）。

- 1. ギャンブル依存性の人が増える恐れがあるから 53%
- 2. 自己破産者が増える恐れがあるから 34%
- 3. 青少年への悪影響の恐れがあるから 50%
- 4. 治安の悪化につながる恐れがあるから 64%
- 5. 天下り環境が増加する恐れがあるから 23%
- 6. 暴力団などの資金源の増加につながるから 56%
- 7. マネーロンダリングの場ができるから 21%
- 8. その他 ( ) 6%

→ 続けて右上の Q 19 に進んでください

Q 19. 太陽光発電についてお聞きします。あなたは、太陽光発電設備を自宅などに設置していますか、あるいは将来的に設置する予定はありますか。

- 1. すでに太陽光発電を設置している 5%
- 2. 将来的には太陽光発電の設置を検討している 29%
- 3. そのつもりはない 64%

Q 20. 食の安全についてお聞きします。割高な食品であっても無農薬や有機栽培などで生産されたものを買いたいと思いますか。

- 1. 買いたいと思う 53%
- 2. 買いたいとは思わない 11%
- 3. どちらともいえない 36%

Q 21. あなたは、1 週間のうち、どの程度朝食をとりますか。

- 1. 毎日食べる 81%
- 2. 食べたり食べなかったりする 13%
- 3. 朝食は食べない 6%

Q 22. ところで、あなたは、社会についての情報を何から得ていますか。もっとも多くの情報を得ているものを一つだけ選んでください。

- 1. テレビ 50%
- 2. ラジオ 4%
- 3. 新聞 20%
- 4. インターネット [Twitter (ツイッター) などを含む] 15%
- 5. 家族や友人からの話 1%
- 6. その他 0%

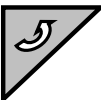
Q 23. さいたま市では、毎月、「市報さいたま」が市民に配付されています。あなたはどのくらい読んでいますか。

- 1. じっくり読んでいる 13%
- 2. 流し読み程度に読んでいる 62%
- 3. 存在は知っているが、読んでいない 19%
- 4. 存在すら知らなかった 6%

Q 24. あなたにとって、さいたま市は、どの程度、住みやすいですか。次の中からお答えください。

- 1. とても住みやすい 14%
- 2. 住みやすい 67%
- 3. あまり住みやすくない 14%
- 4. 住みにくい 3%
- 5. その他 2%

次のページの Q25 に  
進んでください



◆最後に、今回の調査結果を統計的に処理するために、いくつかおうえがいたします。

Q25. あなたは男性ですか、女性ですか。

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
| 45%   | 55%   |

Q26. あなたのお年は満でいくつですか。年齢をお書きください。

	20代 9% / 30代 14%
	40代 22% / 50代 13%
	60代 21% / 70代～ 20%

Q27. あなたが最後に在籍した（または現在在籍している）学校を選んでください。

- |                 |     |
|-----------------|-----|
| 1. 中学校（旧制高等小含む） | 8%  |
| 2. 高校（旧制中学含む）   | 32% |
| 3. 高専・短大・専修学校   | 24% |
| 4. 大学（旧制高専含む）   | 32% |
| 5. 大学院（修士・博士）   | 3%  |
| 6. わからない        | 0%  |

Q28. あなたの職業は何ですか。次の中から一つ選んでください。

- |                       |     |
|-----------------------|-----|
| 1. 経営者、役員、管理職         | 9%  |
| 2. 正社員、正職員            | 26% |
| 3. 派遣社員               | 1%  |
| 4. パート、アルバイト、契約、臨時、嘱託 | 23% |
| 5. 専業主婦（夫）            | 19% |
| 6. 学生                 | 2%  |
| 7. 仕事をしていない           | 19% |

Q29. あなたにはお子さんがいますか。

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
| 68%   | 31%    |

Q30. あなたは一人住まいですか。それとも親や家族と同居されていますか。

- |            |     |
|------------|-----|
| 1. 一人住まい   | 12% |
| 2. 親や家族と同居 | 82% |
| 3. その他     | 6%  |

Q31. あなたは、さいたま市に住んでどのくらいになりますか。

- |              |     |
|--------------|-----|
| 1. 1年未満      | 1%  |
| 2. 2,3年      | 8%  |
| 3. 4年～10年未満  | 11% |
| 4. 10年～20年未満 | 19% |
| 5. 20年以上     | 62% |

Q32. あなたの現在のお住まいは、次のうちどれですか。

- |                            |     |
|----------------------------|-----|
| 1. 持ち家（一戸建て）               | 56% |
| 2. 持ち家（マンションなどの集合住宅）       | 19% |
| 3. 賃貸住宅（一戸建て）              | 1%  |
| 4. 賃貸住宅（マンション、アパートなどの集合住宅） | 19% |
| 5. 社宅・寮                    | 3%  |
| 6. その他                     | 1%  |

Q33. あなたのお宅には、家庭用の固定電話がありますか。（携帯電話のみの方は「ない」にマル）

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
| 89%   | 11%   |

Q34. あなたは現在、スマートフォンを持っていますか。

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
| 45%   | 54%    |

Q35. 最後に、あなたは、ご自宅で電話を使う場合、次のどれに当てはまりますか。次の中から一つ選んでください。

- |                |     |
|----------------|-----|
| 1. 固定電話だけを使う   | 11% |
| 2. 携帯電話だけを使う   | 20% |
| 3. 両方使うが主に固定電話 | 23% |
| 4. 両方使うが主に携帯電話 | 36% |
| 5. 両方とも同じ程度使う  | 9%  |
| 6. 両方とも使わない    | 1%  |

ご協力ありがとうございます。

この回答用紙は、返信用封筒（切手が貼られているもの）に入れ、6月13日（金）までにご返送ください。早めにご投函いただければ幸いです。

この調査について、ご意見やご要望があれば、下の余白にご記入ください。

## 埼玉大学社会調査研究センター

## 「政治に関する意識調査」 2015 年 5 月

埼玉大学社会調査研究センターでは、毎年5月に、さいたま市の市民のみなさまを対象に調査を実施し、いまの政治の見方や選挙への対応などについて、ご意見をお聞きしています。調査の結果は、埼玉大学社会調査研究センターのホームページで公表するとともに、埼玉新聞などでも報道されております。

さいたま市内10区の選挙人名簿から、無作為に1000人の方を抽出したところ、あなた様にご協力をいただくことになりました。ぜひ、ご意見をお聞かせください。回答いただいた内容は、統計的に処理して「〇〇に賛成△△%」といった形で分析しますので、お名前や具体的な回答内容が外部に出ることはありません。また、ご記入の調査票は裁断し、情報管理を徹底します。

この調査には、ご本人様にご回答ください。右上にある「整理番号」は、調査票が返送されたかどうかの確認や集計を匿名で行うためのものです。お名前を書いていただく必要はありません。

誠に恐縮ですが、6月12日（金）までに、同封の封筒にてご返送くださいますようお願いいたします。

お問い合わせ＞埼玉大学社会調査研究センター（担当・菱山＝ひしやま）

Tel: 048-858-3120

e-mail: ssr@gr.saitama-u.ac.jp

## この下の Q1 からお答えください

Q1. あなたは、今の日本の政治のあり方に、どの程度満足していますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1	2	3	4	5	6
かなり満足	まあ満足	いどちらでもない	やや不満	かなり不満	その他
0%	17%	24%	30%	27%	1%

Q2. あなたは誰かと政治的な事柄を話題にしたり、議題にしたりすることがありますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1	2	3	4	5	6
毎日ある	か週あに何回	ぐ週らに一回あ度る	まったくくない	その他	わからない
4%	17%	43%	19%	14%	2%

Q3. あなたは国や地方の政治にどの程度関心をもっていますか。

1. 非常に関心がある	14%
2. ある程度関心がある	61%
3. あまり関心がない	20%
4. 全然関心がない	3%
5. わからない	2%

Q4. あなたは、安倍内閣を支持しますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 大いに支持する	6%
2. ある程度支持する	45%
3. あまり支持しない	30%
4. まったく支持しない	17%
5. その他	2%

Q5. あなたは上田清司・埼玉県知事を支持しますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 大いに支持する	4%
2. ある程度支持する	51%
3. あまり支持しない	23%
4. まったく支持しない	6%
5. その他	14%

Q6. あなたは、清水勇人・さいたま市長を支持しますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 大いに支持する	6%
2. ある程度支持する	49%
3. あまり支持しない	22%
4. まったく支持しない	7%
5. その他	15%

次のページの Q7 に進んでください



Q7. あなたは、4月12日の市議・県議選で、投票しましたか。1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1. 投票した 53%
- 2. 投票しなかった 38%
- 3. 無投票当選で投票がなかった 7%
- 4. わからない 0%

右の Q7D に進んでください

右下の Q8 に進んでください

## 「1. 投票した」と答えた方への質問

Q7A. 当日投票しましたか、それとも期日前投票又は不在者投票をしましたか。1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1. 当日投票をした 76%
- 2. 期日前投票・不在者投票をした 23%

Q7B. あなたは、市議・県議選挙で候補者を選ぶ時、どういう点を考えて投票する人を決めたのですか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1. 地元の利益を考慮して 30%
- 2. 自分と同じような職業の利益を考慮して 4%
- 3. 自分と同じような世代の利益を考慮して 11%
- 4. 候補者の政策や主張を考慮して 60%
- 5. 候補者の人柄を考慮して 25%
- 6. テレビや新聞雑誌などで親しみを感じていたから 2%
- 7. 家族や知人のすすめだったから 9%
- 8. その他 12%
- 9. わからない 1%

Q7C. 市議・県議選挙で、投票する人を決めたのはいつ頃でしたか。1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1. 選挙期間に入る前から（4月2日以前）28%
- 2. 選挙期間に入った時（4月3日（金））15%
- 3. 選挙期間中（4月4日（土）から4月11日（土））45%
- 4. 投票日当日（4月12日（日））9%
- 5. わからない 2%

続けてとなりのQ8に進んでください

## 「2. 投票しなかった」と答えた方への質問

Q7D. 投票しなかったのは、なぜですか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1. 仕事があったから 18%
- 2. 重要な用事（仕事を除く）があったから 16%
- 3. 病気だったから 6%
- 4. 体調がすぐれなかったから 8%
- 5. 投票所が遠かったから 3%
- 6. 面倒だから 14%
- 7. 選挙にあまり関心がなかったから 26%
- 8. 政策や候補者の人物像など、違いがよくわからなかったから 27%
- 9. 適当な候補者がいなかったから 22%
- 10. 私一人が投票してもしなくても同じだから 11%
- 11. 選挙によって政治はよくならないと思ったから 15%
- 12. いま住んでいる所に選挙権がないから 1%
- 13. 天候が悪かったから 1%
- 14. その他 11%
- 15. わからない 0%

Q7E. あなたはどのような状況だったら投票に行こうと思いますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1. 投票所が近かったら 8%
- 2. 投票所までの無料のバスなどが運行されたら 1%
- 3. 駅やショッピングセンター・コンビニなどでも投票ができたなら 27%
- 4. 期日前投票が午後8時以降もできたら 11%
- 5. わからない 29%

## ここからは全員への質問です

Q8. あなたは、選挙権の有資格年齢を、現在の20歳から18歳に引き下げること、賛成ですか、反対ですか。

- 1. 賛成 46%
- 2. 反対 32%
- 3. わからない 19%

Q9. あなたには、支持している政党がありますか。

- |     |     |       |
|-----|-----|-------|
| 1   | 2   | 3     |
| あ る | な い | わからない |
| 34% | 56% | 6%    |

次に右上の Q10 に進んでください



Q10. 現在、地方議会の議員になりたいという立候補者が減っています。あなたは、無投票選挙をさけるために議員定数を削減することに賛成ですか、それとも反対ですか。

- 1. 賛成 68%
- 2. 反対 9%
- 3. わからない 22%

Q11. 選挙で繰り返し当選する、いわゆる「多選」について、あなたはどのくらいまでが適当だと思いますか。1つだけ選んで○を付けてください。

- 1. 再選まで 25%
- 2. 3選まで 44%
- 3. 4選まで 6%
- 4. それ以上 5%
- 5. わからない 19%

Q12. 一昨年からインターネットを利用した選挙運動が解禁されましたが、インターネットでのオンライン投票（ネット投票）は、まだ施行されていません。あなたは「ネット投票」の導入に、賛成ですか。反対ですか。

- 1. 賛成 45%
- 2. 反対 32%
- 3. わからない 20%

Q13. あなたは、女性の政治家がもっと増えた方がよいと思いますか。

- 1. そう思う 59%
- 2. そうは思わない 21%
- 3. わからない 19%

Q14. あなたの親族に政治家、または政治家だった方はいますか。

- 1. いる（いた） 10%
- 2. いない 88%

Q15. きれいな選挙の実現や投票率向上のために、市の選挙管理委員会と協力して活動する明るい選挙推進協議会があります。あなたはさいたま市・区明るい選挙推進協議会を知っていますか。

- 1. 知っている 13%
- 2. 知らない 80%
- 3. わからない 6%

Q16. 話は変わりますが、あなたは、原子力発電を利用することに、賛成ですか。反対ですか。

- 1. 賛成 27%
- 2. 反対 49%
- 3. わからない 22%

Q17. 2020年の東京オリンピック開催に向けて、日本にもカジノを誘致しようとする動きがありますが、あなたは日本にカジノは必要だと思いますか。

- 1. 必要だと思う 14%
- 2. 必要だと思わない 72%
- 3. わからない 13%

Q18. あなたは、同性婚（同性同士での結婚）を法的に認めることに賛成ですか、それとも反対ですか。

- 1. 賛成 37%
- 2. 反対 32%
- 3. わからない 30%

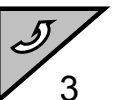
Q19. 特定の民族や国籍などに対する差別的表現、いわゆるヘイトスピーチが問題になっています。あなたは、ヘイトスピーチを法律で規制することに賛成ですか。反対ですか。

- 1. 賛成 42%
- 2. 反対 18%
- 3. わからない 38%

Q20. ところで、あなたは、社会についての情報を何から得ていますか。多くの情報を得ているものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1. テレビ 78%
- 2. ラジオ 8%
- 3. 新聞 50%
- 4. インターネット[ Twitter (ツイッター) なども含む] 34%
- 5. 家族や友人からの話 8%
- 6. その他 2%

次のページの Q21 に進んでください



◆最後に、今回の調査結果を統計的に処理するために、  
いくつかおうかがいします。

Q 2 1. あなたは男性ですか、女性ですか。

1. 男性 48%                      2. 女性 51%

Q 2 2. あなたのお年は満でいくつですか。年齢を  
お書きください。

	20代:8%	30代:14%	40代:19%
	50代:16%	60代:16%	
	70歳以上:25%		
	歳		

Q 2 3. あなたが最後に在籍した（または現在在籍して  
いる）学校を1つだけ選んで番号に○をつけてください。

1. 中学校（旧制高等小含む） 7%  
2. 高校（旧制中学含む） 32%  
3. 高専・短大・専修学校 25%  
4. 大学（旧制高専含む） 31%  
5. 大学院（修士・博士） 3%  
6. わからない 1%

Q 2 4. あなたの職業は何ですか。次の中から1つだけ  
選んで番号に○をつけてください。

1. 経営者、役員、管理職 14%  
2. 正社員、正職員 25%  
3. 派遣社員 1%  
4. パート、アルバイト、契約、臨時、嘱託 20%  
5. 専業主婦（夫） 20%  
6. 学生 2%  
7. 仕事をしていない 17%

Q 2 5. あなたのご自宅から投票所へ行くのには、何分  
くらいかかりますか。1つ選んで○をつけてください。

1. 5分未満 35%  
2. 10分未満 49%  
3. 20分未満 11%  
4. 20分以上 3%  
5. わからない 2%

Q 2 6. あなたの現在のお住まいは、次のうちどれですか。  
1つだけ選んで番号に○をつけてください。

1. 持ち家（一戸建て） 57%  
2. 持ち家（マンションなどの集合住宅） 20%  
3. 賃貸住宅（一戸建て） 3%  
4. 賃貸住宅（マンション、アパートなどの集合住宅） 16%  
5. 社宅・寮 2%  
6. その他 1%

Q 2 7. あなたは一人住まいですか。それとも親や家族  
と同居されていますか。

1. 一人住まい 12%  
2. 親や家族と同居 82%  
3. その他 5%

Q 2 8. あなたにはお子さんがいますか。

1. いる 72%  
2. いない 27%

Q 2 9. あなたは、何人子どもがいるのが理想だと考  
えますか。

1. 0人 1%  
2. 1人 4%  
3. 2人 55%  
4. 3人以上 37%

Q 3 0. あなたのお宅には、家庭用の固定電話があり  
ますか。（携帯電話のみの方は「2. ない」に○を）

1. ある 85%                      2. ない 14%

Q 3 1. あなたは現在、スマートフォンを持っていま  
すか。

1. はい 54%                      2. いいえ 45%

Q 3 2. 最後に、あなたは、ご自宅で電話を使う場合、  
次のどれに当てはまりますか。次の中から1つだけ選ん  
で番号に○をつけてください。

1. 固定電話だけを使う 11%  
2. 携帯電話だけを使う 21%  
3. 両方使うが主に固定電話 19%  
4. 両方使うが主に携帯電話 40%  
5. 両方とも同じ程度使う 8%  
6. 両方とも使わない 1%

ご協力ありがとうございます。

この回答用紙は、返信用封筒（切手が貼られている  
もの）に入れ、**6月12日（金）までに**、ご返送くださ  
い。早めにご投函いただければ幸いです。

この調査について、ご意見やご要望があれば、下の余白  
にご記入ください。

# 埼玉大学社会調査研究センター 「政治に関する意識調査」 2016 年 8 月

埼玉大学社会調査研究センターでは、毎年、さいたま市の市民のみなさまを対象に調査を実施し、いまの政治の見方や選挙への対応などについて、ご意見をお聞きしています。調査の結果は、埼玉大学社会調査研究センターのホームページで公表するとともに、埼玉新聞などでも報道されております。

さいたま市内 10 区の選挙人名簿から、無作為に 1000 人の方を抽出したところ、あなた様にご協力をいただくことになりました。ぜひ、ご意見をお聞かせください。回答いただいた内容は、統計的に処理して「〇〇に賛成△△%」といった形で分析しますので、お名前や具体的な回答内容が外部に出ることはありません。また、ご記入の調査票は裁断し、情報管理を徹底します。

この調査には、ご本人様にご回答ください。右上にある「整理番号」は、調査票が返送されたかどうかの確認や集計を匿名で行うためのものです。お名前を書いていただく必要はありません。

**誠に恐縮ですが、9月9日（金）までに、同封の封筒にてご返送くださいますようお願いいたします。**

お問い合わせ＞埼玉大学社会調査研究センター（担当・菱山＝ひしやま）  
月～金 午前 10 時から午後 5 時まで

Tel:048-858-3120 FAX:048-858-3115  
e-mail: ssro@gr.saitama-u.ac.jp

## この下の Q1 からお答えください

**Q1. あなたは国や地方の政治にどの程度関心をもっていますか。1つ選んで番号に○をつけてください。**

- 1. 非常に関心がある 15%
- 2. ある程度関心がある 61%
- 3. あまり関心がない 19%
- 4. 全く関心がない 2%
- 5. わからない 2%

**Q2. あなたは、自分自身の生活と政治とはどの程度関係していると思いますか。1つ選んで番号に○をつけてください。**

- 1. 非常に関係している 26%
- 2. ある程度関係している 49%
- 3. あまり関係していない 20%
- 4. 全く関係していない 2%
- 5. わからない 2%

**Q3. あなたは、現在の政治に対してどの程度満足していますか。1つ選んで番号に○をつけてください。**

- 1. 大いに満足している 0%
- 2. だいたい満足している 23%
- 3. やや不満足である 44%
- 4. 大いに不満足である 25%
- 5. わからない 8%

**Q4. あなたは、安倍内閣を支持しますか。1つ選んで番号に○をつけてください。**

- 1. 大いに支持する 6%
- 2. ある程度支持する 47%
- 3. あまり支持しない 27%
- 4. まったく支持しない 14%
- 5. その他 6%

**Q5. あなたは、上田清司・埼玉県知事を支持しますか。1つ選んで番号に○をつけてください。**

- 1. 大いに支持する 4%
- 2. ある程度支持する 51%
- 3. あまり支持しない 22%
- 4. まったく支持しない 6%
- 5. その他 17%

**Q6. あなたは、清水勇人・さいたま市長を支持しますか。1つ選んで番号に○をつけてください。**

- 1. 大いに支持する 6%
- 2. ある程度支持する 52%
- 3. あまり支持しない 20%
- 4. まったく支持しない 8%
- 5. その他 14%

次のページの Q7 に進んでください



Q7. あなたは、7月10日に実施された参議院議員選挙で投票しましたか。1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1. 投票した 70%
- 2. 投票しなかった 29%
- 3. わからない -

#### 「1. 投票した」と回答した人への質問

Q7A. 投票日当日に投票しましたか、それとも期日前投票（または不在者投票）をしましたか。1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1. 当日投票をした 69%
- 2. 期日前投票（不在者投票）をした 30%

Q7B. あなたは、選挙区の立候補者の中で誰を選ぶか決める時、候補者の所属する政党を重視して投票しましたか。それとも候補者個人を重視して投票しましたか。1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1. 政党を重視して 61%
- 2. 候補者個人を重視して 22%
- 3. どちらともいえない 12%
- 4. わからない 0%

Q7C. 今回の参議院選挙にあたり、あなたは、選挙公約などで各党の政策の比較をしましたか。1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1. （比較を）した 62%
- 2. （比較を）しなかった 31%

#### 「2. 投票しなかった」と回答した人への質問

Q7D. あなたが投票しなかったのは、なぜですか。あてはまるものを2つまで選んで、番号に○をつけてください。

- 1. 他の用事（勉強や部活など）があったから 31%
- 2. 病気や体調が良くなかったから 21%
- 3. 投票所が遠かったから 3%
- 4. 面倒（めんどろ）だったから 11%
- 5. 選挙に関心がなかったから 17%
- 6. 誰を（どの政党）を選んでいいのかよくわからなかったから 31%
- 7. 自分一人が投票しても意味がないから 11%
- 8. 今住んでいるところに選挙権がなかったから -
- 9. その他（ ） 9%
- 10. わからない -

#### ここからは全員への質問です

Q8. 今回の参議院議員選挙で、あなたが見たり聞いたりしたものが下の中にありますか。あればすべて選んで番号に○をつけてください。

- 1. 「選挙公報」 27%
- 2. 候補者や政党の新聞広告 36%
- 3. 政党のテレビCM（コマーシャル） 27%
- 4. 新聞やテレビの選挙報道番組 56%
- 5. 政党や選挙管理委員会のホームページ 4%
- 6. LINE や Twitter(ツイッター)などの SNS 6%
- 7. 掲示板にはられた候補者や政党のポスター 48%
- 8. 候補者や政党による駅や街頭での演説 25%
- 9. 候補者や政党のビラやパンフレット 27%
- 10. 候補者や政党からの電話による依頼 7%
- 11. 選挙カーの連呼運動 25%
- 12. どれも見たり聞いたりしなかった 4%
- 13. わからない 1%

Q9. あなたは、どのような環境であれば投票しやすいと感じますか。あてはまるものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1. 自分の通う学校で投票できる 7%
- 2. 自分がよく行く施設や店で投票できる 36%
- 3. どの投票所でも投票できる 35%
- 4. 朝早くから深夜まで投票できる 18%
- 5. 郵便で投票できる 19%
- 6. パソコンやスマートフォンから投票できる 37%
- 7. その他（ ） 4%
- 8. わからない 3%

Q10. あなたには、支持している政党がありますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

- |   |   |     |
|---|---|-----|
| 1 | 2 | 3   |
| あ | る | 38% |
| な | い | 51% |
| わ | か | ら   |
| な | い | 9%  |

Q11. 今回から「選挙権」が18歳になりました。18歳という年齢で選挙権を持つのは早いと思いますか。それとも遅いと思いますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1. 早い 28%
- 2. ちょうどいい 53%
- 3. 遅い 2%
- 4. わからない 16%

次に右上の Q12に進んでください



**Q 1 2.** 一方、選挙に立候補できる「被選挙権」は、都道府県知事と参議院議員では 30 歳以上、それ以外では 25 歳以上となっています。あなたは、被選挙権についてどうするべきだと思いますか。1 つ選んで番号に○をつけてください。

1. 選挙権と同じ 18 歳以上にすべきだ 4%
2. 引き下げるべきだが、選挙権と同じ年齢まで引き下げる必要はない 22%
- 3.今のままでよい 63%
4. わからない 10%

**Q 1 3.** 日本の政治家（国会議員、地方議員、首長など）を考えた時、あなたは、政治家についてどんな印象を持っていますか。1 つ選んで番号に○をつけてください。

1. とても信頼できると思う 0%
2. ある程度信頼できると思う 27%
3. あまり信頼できないと思う 54%
4. 全く信頼できないと思う 13%
5. わからない 5%

**Q 1 4.** あなたは、日本の将来はどうなると思いますか。1 つ選んで番号に○をつけてください。

1. 良くなると思う 6%
2. あまり変わらないと思う 44%
3. 悪くなると思う 41%
4. わからない 9%

**Q 1 5.** あなたは、家族と政治の話をすることがあります。1 つ選んで番号に○をつけてください。

1. よくある 8%
2. ときどきある 46%
3. あまりない 25%
4. ほとんどない 19%
5. わからない 0%

**Q 1 6.** あなたは選挙での投票について、次の中のどれに近い考えをお持ちですか。1 つ選んで番号に○をつけてください。

1. 投票することは国民の義務である 26%
2. 投票することは国民の権利であるが、棄権すべきではない 38%
3. 投票する、しないは個人の自由である 32%
4. わからない 4%

**Q 1 7.** 今の日本の政治を実際に動かしているのは誰だと思いますか。1 つ選んで番号に○をつけてください。

1. 国会議員 15%
2. 官僚 43%
3. 首相 11%
4. 国民一人一人 8%
5. 大企業 5%
6. マスコミ 3%
7. その他 ( ) 3%
8. わからない 9%

**Q 1 8.** あなたは、政治に関する情報を何から得ていますか。また、それはどの程度ですか。次の A から C について、それぞれ 1 つ選んで番号に○をつけてください。

**A. テレビで政治のニュースを見る**

1. ほぼ毎日見ている 54%
2. 週に 1 回以上見ている 25%
3. あまり見ない 17%
4. まったく見ない 3%
5. わからない 0%

**B. 新聞で政治の記事を読む**

1. ほぼ毎日読んでいる 26%
2. 週に 1 回以上読んでいる 21%
3. あまり読まない 27%
4. まったく読まない 21%
5. わからない 1%

**C. インターネットで政治のニュースを読む**

1. ほぼ毎日読んでいる 22%
2. 週に 1 回以上見ている 20%
3. あまり見ない 23%
4. まったく見ない 28%
5. わからない 2%

**Q 1 9.** ところで、あなたは、社会についての情報を何から得ていますか。多くの情報を得ているものを 2 つまで選んで番号に○をつけてください。

1. テレビ 80%
2. ラジオ 6%
3. 新聞 40%
4. インターネット [ Twitter (ツイッター) などを含む ]
5. 家族や友人からの話 8%
6. その他 0%

次のページの F 1 に進んでください

◆最後に、今回の調査結果を統計的に処理するために、いくつかおうかがいします。

F 1. あなたは男性ですか、女性ですか。

1. 男性 47%(292)      2. 女性 53%(330)

F 2. あなたのお年は満でいくつですか。年齢をお書きください。

□	18~29 歳	10%(65)	30 代	13%(83)
	40 代	20%(126)	50 代	15%(96)
	60 代	17%(108)	70 歳以上	23%(142)

F 3. あなたが最後に在籍した（または現在在籍している）学校を 1 つだけ選んで番号に○をつけてください。

1. 中学校（旧制高等小含む） 8%  
2. 高校（旧制中学含む） 31%  
3. 高専・短大・専修学校 24%  
4. 大学（旧制高専含む） 33%  
5. 大学院（修士・博士） 4%  
6. わからない 0%

F 4. あなたの職業は何ですか。次の中から 1 つだけ選んで番号に○をつけてください。

1. 経営者、役員、管理職 12%  
2. 正社員、正職員 24%  
3. 派遣社員 2%  
4. パート、アルバイト、契約、臨時、嘱託 22%  
5. 専業主婦（夫） 17%  
6. 学生 4%  
7. 仕事をしていない 18%

F 5. あなたの現在のお住まいは、次のうちどれですか。1 つだけ選んで番号に○をつけてください。

1. 持ち家（一戸建て） 57%  
2. 持ち家（マンションなどの集合住宅） 20%  
3. 賃貸住宅（一戸建て） 1%  
4. 賃貸住宅（マンション、アパートなどの集合住宅） 17%  
5. 社宅・寮 3%  
6. その他 2%

F 6. あなたは一人住まいですか。それとも親や家族と同居されていますか。

1. 一人住まい 12%  
2. 親や家族と同居 83%  
3. その他 5%

F 7. あなたにはお子さんがいますか。

1. いる 67%  
2. いない 32%

F 8. あなたのご自宅から投票所へ行くのには、何分くらいかかりますか。1 つ選んで○をつけてください。

1. 5 分未満 29%  
2. 10 分未満 50%  
3. 20 分未満 15%  
4. 20 分以上 3%  
5. わからない 2%

F 1 1. あなたのお宅には、家庭用の固定電話がありますか。（携帯電話のみの方は「2. ない」に○を）

1. ある 86%      2. ない 13%

F 1 2. あなたは現在、スマートフォンを持っていますか。

1. はい 61%      2. いいえ 38%

F 1 3. 最後に、あなたは、ご自宅で電話を使う場合、次のどれに当てはまりますか。次の中から 1 つだけ選んで番号に○をつけてください。

1. 固定電話だけを使う 9%  
2. 携帯電話だけを使う 24%  
3. 両方使うが主に固定電話 17%  
4. 両方使うが主に携帯電話 41%  
5. 両方とも同じ程度使う 7%  
6. 両方とも使わない 1%

ご協力ありがとうございます。

この回答用紙は、返信用封筒（切手が貼られているもの）に入れ、**9月9日（金）までに**、ご返送ください。早めにご投函いただければ幸いです。

この調査について、ご意見やご要望があれば、下の余白にご記入ください。

さいたま市選挙管理委員会  
埼玉大学社会調査研究センター

(653/1,000) 65%

「さいたま市民の政治・選挙に関する意識調査」2017年7月

さいたま市選挙管理委員会では、埼玉大学社会調査研究センターと共同で、いまの政治への関心や選挙への対応などを有権者のみなさまにお聞きし、投票環境整備や効果的な啓発手法を考えるために活用させていただきたいと考えております。

さいたま市内10区の選挙人名簿から、無作為に1,000人の方を抽出したところ、あなた様にご協力をいただくことになりました。ぜひ、ご意見をお聞かせください。回答いただいた内容は、統計的に処理して「〇〇に賛成△△%」といった形で分析しますので、お名前や具体的に記入いただいた回答が外部に公表されることはございません。また、ご記入の調査票は裁断し、情報管理を徹底してまいります。

この調査には、ご本人様にご回答ください。右上にある「整理番号」は、調査票が返送されたかどうかの確認を行うためのものです。お名前を書いていただく必要はありません。

申し訳ありませんが、8月4日(金)までに、同封の封筒にてご返送くださいますようお願いいたします。

お問い合わせ＞埼玉大学社会調査研究センター（担当・菱山＝ひしやま）  
10時～17時（月曜日から金曜日、祝日を除く）

Tel:048-858-3120 Fax:048-858-3115  
e-mail: ssrc@gr.saitama-u.ac.jp

**この下の Q1 からお答えください**

**Q1. あなたは、国や地方の政治について、どの程度関心がありますか。1つ選んで番号に○をつけてください。**

1. 非常に関心がある 14%
2. ある程度関心がある 62%
3. あまり関心がない 21%
4. 全く関心がない 2%
5. わからない 0%

**Q2. あなたは、誰かと政治的な事柄を議論したり、話題にしたりすることがありますか。1つ選んで番号に○をつけてください。**

1. 毎日ある 4%
2. 週に何回かある 17%
3. 週に1度ぐらいある 40%
4. まったくない 21%
5. その他 16%
6. わからない 2%

**Q3. 公職選挙法改正により、18歳未満の児童・生徒等も投票所に同伴できるようになりました。あなたはこのことを知っていますか。**

1. 知っている 74%
2. 知らなかった 26%

**Q4. あなたは、5月21日のさいたま市長選挙について、どの程度関心がありましたか。1つ選んで番号に○をつけてください。**

1. 非常に関心があった 10%
2. ある程度関心があった 41%
3. あまり関心がなかった 40%
4. 全く関心がなかった 8%
5. わからない 1%

**Q5. あなたは、5月21日のさいたま市長選で投票しましたか。1つ選んで番号に○をつけてください。**

1. 投票した 48%
2. 投票しなかった 51%
3. わからない 1%

## 「1. 投票した」と回答した人への質問

Q6. 投票日当日に投票しましたか、それとも期日前投票（または不在者投票）をしましたか。

1. 当日投票をした 74%
2. 期日前投票（または不在者投票）をした 25%

Q7. あなたは、どなたと投票に行きましたか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 1人で 46%
2. 家族と 53%
3. 知人等と 0%
4. その他（具体的に ） —

Q8. 今回のさいたま市長選挙について、あなたは、各候補者の政策の比較をしましたか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 政策の比較をした 59%
2. 政策の比較をしなかった 37%
3. わからない 4%

Q9. あなたは、さいたま市長選挙で候補者を選ぶ時、どういう点を考えて投票する人を決めましたか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

1. 地元の利益を考えて 38%
2. 自分と同じような職業の利益を考えて 4%
3. 自分と同じような世代の利益を考えて 14%
4. 候補者の政策や主張を考えて 59%
5. 候補者の人柄を考えて 33%
6. テレビや新聞、雑誌などで親しみを感じていたから 7%
7. 家族や知人に勧められたから 6%
8. その他（具体的に ） 6%
9. わからない 4%

Q10. あなたは、さいたま市長選挙で投票する人を決めたのはいつ頃でしたか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 選挙期間に入る前から（5月6日(土)以前） 27%
2. 選挙期間中（5月7日(日)から20日(土)） 57%
3. 投票日当日（5月21日(日)） 13%
4. わからない 2%

Q11. あなたが、さいたま市長選挙で投票所に行った際に、どのような交通手段を利用しましたか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 徒歩 60%
2. 自転車、バイク 19%
3. 自家用車 19%
4. タクシー —
5. 公共交通（JR・私鉄・バスなど） 1%
6. その他（具体的に ） —

次のページの Q14 に進んでください

## 「2. 投票しなかった」と回答した人への質問

Q12. あなたが投票しなかったのは、なぜですか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

1. 仕事や旅行など、他の用事があったから 44%
2. 病気などで体調が良くなかったから 13%
3. 投票に行こうと思ったが、忘れてしまったから 12%
4. どのように投票すればよいかわからなかったから 2%
5. 市長選挙があることを知らなかったから 4%
6. 投票するのが面倒だったから 16%
7. 投票所が近くになかったから 4%
8. 投票日時や投票場所がわからなかったから 2%
9. 投票所整理券（入場券）を紛失したから 0%
10. 政治や選挙に関心がなかったから 10%
11. 投票したいと思う候補者がいなかったから 28%
12. 政策がわからなかったから 13%
13. 自分の一票では選挙の結果は変わらないか 13%
14. 選挙によって世の中は変わらないから 10%
15. なんとなく 4%
16. その他（具体的に ） 7%
17. わからない —

次のページに続きます。



Q13. あなたは、どういう状況ならば投票しようと思いますか。2つまで選んで番号に○をつけてください。

1. 投票所が近かったら 11%
2. 投票所までの無料バスなどが運行されたら 1%
3. 区内の投票所であればどこでも投票できたら 6%
4. 駅やショッピングセンターなどで投票できたら 29%
5. 期日前投票が早朝や午後8時以降もできた 8%
6. 投票日の投票時間が延長されたら 4%
7. インターネットや郵送による投票ができれば 43%
8. その他（具体的に ） 14%
9. わからない 6%

下の Q14 に進んでください

ここからは全員への質問です。

Q14. 今回の市長選挙で、さいたま市選挙管理委員会及び明るい選挙推進協議会等が投票参加の呼びかけを行いました。下の中であなたが見たり聞いたものがあれば、すべて選んで番号に○をつけてください。

1. 市役所・区役所でののぼり旗やステッカー 17%
2. 横断幕・懸垂幕（駅や市・区役所） 13%
3. 市役所・区役所の電光掲示板 3%
4. 啓発ポスター（自治会掲示板等） 33%
5. 選挙のごあんない（公共施設等に配置） 20%
6. 投票所整理券に同封されている啓発チラシ 20%
7. 市報さいたま 35%
8. さいたま市の広報車（候補者の選挙運動自動車は含まない） 9%
9. 清掃自動車のフロント幕 2%
10. バス広告 5%
11. サッカースタジアムでの大型映像広告 1%
12. 啓発物（ウェットティッシュ・ティッシュ） 2%
13. 街頭駅前など・イベントなどでの啓発キャンペーン 14%
14. ラジオスポット広告 2%
15. デパート・百貨店・市役所・区役所でのアナウンス 3%
16. さいたま市の選挙速報サイト 6%
17. その他（具体的に ） 2%
18. どれも見たり聞いたりしなかった 19%
19. わからない 5%

Q15. 今回の市長選挙で、あなたが候補者を選ぶためにもっとも参考にしたものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

1. 選挙公報 26%
2. 候補者の新聞広告 15%
3. 新聞・雑誌やテレビの報道 17%
4. インターネットやホームページの選挙情報 7%
5. 掲示場にはられた候補者のポスター 21%
6. 候補者からのハガキ 2%
7. 候補者による駅や街頭での演説 10%
8. 候補者のビラ 5%
9. 電話による依頼 1%
10. 選挙運動自動車からの連呼 2%
11. どれも参考にしなかった 18%
12. わからない 7%

Q16. あなたが社会についての情報を得る際に、最も利用しているものは何ですか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. テレビ 42%
2. ラジオ 2%
3. 新聞 20%
4. インターネット [Twitter(ツイッター)なども含む] 20%
5. 家族や友人からの話 3%
6. その他 —

Q17. さいたま市・区選挙管理委員会では、普段から選挙に関する情報提供を行っておりますが、下の中であなたが見たり聞いたりしたものがあれば、すべて選んで番号に○をつけてください。

1. 選挙啓発動画 5%
2. さいたま市選挙管理委員会ホームページ 7%
3. 自治会回覧板（選挙啓発のチラシ） 36%
4. 区民まつりでの選挙啓発 6%
5. 区選挙管理委員会の政治啓発講演会 1%
6. 標語コンクール 2%
7. ポスターコンクール 4%
8. 模擬投票イベント 0%
9. 選挙 BOOK（中学生向け選挙副読本） 0%
10. どれも見たり聞いたりしなかった 51%

次のページに続きます。

◆最後に、今回の調査結果を統計的に処理するために、いくつかおうかがいします。

F 1. あなたは男性ですか、女性ですか。

1. 男性 47%      2. 女性 53%

F 2. あなたの年齢について、あてはまる番号に○をつけてください。

1. 10代 2%      5. 50代 16%  
2. 20代 7%      6. 60代 17%  
3. 30代 14%      7. 70代 16%  
4. 40代 19%      8. 80歳以上 8%

F 3. あなたが最後に在籍した（または現在在籍している）学校を1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 中学校（旧制高等小含む） 7%  
2. 高校（旧制中学含む） 34%  
3. 高専・短大・専修学校 21%  
4. 大学（旧制高専含む） 34%  
5. 大学院（修士・博士） 2%  
6. わからない 0%

F 4. あなたの現在のお住まいは、次のうちどれですか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 持ち家（一戸建て） 59%  
2. 持ち家（マンションなどの集合住宅） 17%  
3. 賃貸住宅（一戸建て） 3%  
4. 賃貸住宅（マンション、アパートなどの集合住宅） 17%  
5. 社宅・寮 2%  
6. その他 1%

F 5. あなたは、一人住まいですか。それとも家族等の方と同居されていますか。

1. 一人住まい 11%  
2. 家族等と同居 88%  
3. その他 1%

F 6. あなたにはお子さんがいますか。

1. いる 68%      2. いない 32%

F 7. あなたのご自宅から投票所へ行くのには、何分くらいかかりますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 5分未満 30%  
2. 10分未満 45%  
3. 20分未満 16%  
4. 20分以上 5%  
5. わからない 2%

F 8. あなたは、さいたま市に住んでどのくらいになりますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 1年未満 1%  
2. 2～3年未満 5%  
3. 4年～10年未満 13%  
4. 10年～20年未満 21%  
5. 20年以上 60%

F 9. あなたのお宅には、家庭用の固定電話がありますか。（携帯電話のみの方は「2. ない」に○を）

1. ある 85%      2. ない 15%

F 10. あなたは現在、スマートフォンを持っていますか。

1. はい 65%      2. いいえ 35%

F 11. 最後に、あなたは、ご自宅で電話を使う場合次のどれに当てはまりますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 固定電話だけ使う 9%  
2. 携帯電話だけ使う 26%  
3. 両方使うが主に固定電話 14%  
4. 両方使うが主に携帯電話 41%  
5. 両方とも同じ程度使う 9%  
6. 両方とも使わない 1%

ご協力ありがとうございます。

この回答用紙は、返信用封筒（切手が貼られているもの）に入れ、8月4日（金）までに、ご返送ください。早めにご投函いただければ幸いです。

この調査について、ご意見やご要望があれば、下の余白にご記入ください。

## 埼玉大学社会調査研究センター

## 「政治に関する意識調査」 2018年8月

埼玉大学社会調査研究センターでは、毎年、さいたま市の市民のみなさまを対象に調査を実施し、いまの政治の見方や選挙への対応などについて、ご意見をお聞きしています。調査の結果は、埼玉大学社会調査研究センターのホームページで公表するとともに、埼玉新聞などでも報道されております。

さいたま市内10区の選挙人名簿から、無作為に1000人の方を抽出したところ、あなた様にご協力をいただくことになりました。ぜひ、ご意見をお聞かせください。回答いただいた内容は、統計的に処理して「〇〇に賛成△△%」といった形で分析しますので、お名前や具体的な回答内容が外部に出ることはありません。また、ご記入の調査票は裁断し、情報管理を徹底します。

この調査には、ご本人様にご回答ください。右上にある「整理番号」は、調査票が返送されたかどうかの確認や集計を匿名で行うためのものです。お名前を書いていただく必要はありません。

**誠に恐縮ですが、8月17日（金）までに、同封の封筒にてご返送くださいますようお願いいたします。**

お問い合わせ： 埼玉大学社会調査研究センター（担当：菱山＝ひしやま）  
月～金 午前9時から午後4時まで  
（8月13日～16日の間は夏期休暇となります）

TEL:048-858-3120 FAX:048-858-3115  
E-mail: ssrc@gr.saitama-u.ac.jp

**この下の Q1 からお答えください**

**Q1. あなたは、現在の政治に対してどの程度満足していますか。1つ選んで番号に○をつけてください。**

1. 大いに満足している 0%
2. だいたい満足している 20%
3. やや不満足である 38%
4. 大いに不満足である 33%
5. わからない 8%

**Q2. 日本の政治家（国会議員、地方議員、首長など）を考えた時、あなたは、政治家についてどんな印象を持っていますか。1つ選んで番号に○をつけてください。**

1. とても信頼できると思う 1%
2. ある程度信頼できると思う 23%
3. あまり信頼できないと思う 55%
4. 全く信頼できないと思う 17%
5. わからない 4%

**Q3. 今の日本の政治を実際に動かしているのは誰だと思いますか。1つ選んで番号に○をつけてください。**

1. 国会議員 17%
2. 官僚 34%
3. 首相 21%
4. 国民一人一人 6%
5. 大企業 5%
6. マスコミ 4%
7. わからない 12%

**Q4. あなたは、安倍内閣を支持しますか。1つ選んで番号に○をつけてください。**

1. 支持する 6%
2. ある程度支持する 30%
3. あまり支持しない 25%
4. 支持しない 32%
5. わからない 6%

**Q5. あなたは、上田清司・埼玉県知事を支持しますか。1つ選んで番号に○をつけてください。**

1. 支持する 9%
2. ある程度支持する 44%
3. あまり支持しない 14%
4. 支持しない 7%
5. わからない 25%

**Q6. あなたは、清水勇人・さいたま市長を支持しますか。1つ選んで番号に○をつけてください。**

1. 支持する 11%
2. ある程度支持する 46%
3. あまり支持しない 14%
4. 支持しない 6%
5. わからない 22%

**Q7. あなたは、今の生活に満足していますか。1つ選んで番号に○をつけてください。**

1. 満足している 10%
2. ある程度満足している 58%
3. あまり満足していない 22%
4. 満足していない 9%

次のページの Q8 に進んでください



Q 8. あなたは、昨年 10 月に実施された衆議院議員選挙で投票しましたか。1 つ選んで番号に○をつけてください。

- 1. 投票した 69%
- 2. 投票しなかった 28%
- 3. わからない 2%

#### 「1. 投票した」と回答した人への質問

Q 8 A. 投票日当日に投票しましたか、それとも期日前投票（または不在者投票）をしましたか。1 つ選んで番号に○をつけてください。

- 1. 当日投票をした 72%
- 2. 期日前投票（不在者投票）をした 28%

#### 「2. 投票しなかった」と回答した人への質問

Q 8 B. あなたが投票しなかったのは、なぜですか。あてはまるものを 2 つまで選んで、番号に○をつけてください。

- 1. 他の用事（勉強や部活など）があったから 22%
- 2. 病気や体調が良くなかったから 11%
- 3. 投票所が遠かったから 1%
- 4. 面倒（めんどう）だったから 8%
- 5. 選挙に関心がなかったから 31%
- 6. 誰（どの政党）を選んでいいのかわからなかったから 32%
- 7. 自分一人が投票しても意味がないから 10%
- 8. 今住んでいるところに選挙権がなかったから 3%

#### ここからは全員への質問です

Q 9. 2016 年から「選挙権」が 18 歳になりました。18 歳という年齢で選挙権を持つのは早いと思いますか。それとも遅いと思いますか。1 つ選んで番号に○をつけてください。

- 1. 早い 41%
- 2. ちょうどいい 46%
- 3. 遅い 2%
- 4. わからない 10%

Q 10. 一方、選挙に立候補できる「被選挙権」は、都道府県知事と参議院議員では 30 歳以上、それ以外では 25 歳以上となっています。あなたは、被選挙権についてどうするべきだと思いますか。1 つ選んで番号に○をつけてください。

- 1. 選挙権と同じ 18 歳以上にすべきだ 6%
- 2. 引き下げるべきだが、選挙権と同じ年齢まで引き下げる必要はない 23%
- 3. 今のままでよい 60%
- 4. わからない 10%

Q 11. さいたま市役所の庁舎は浦和区にありますが、さいたま新都心駅周辺への移転が望ましいとの答申がされています。あなたは、庁舎は移転すべきだと思いますか。1 つ選んで番号に○をつけてください。

- 1. さいたま新都心に移転すべきである 36%
- 2. 浦和区から移転すべきではない 34%
- 3. わからない 27%
- 4. その他の場所が良い 3%

Q 12. あなたは、「ツールドフランスさいたまクリテリウム」をご存知ですか。番号に○をつけてください。

- 1. 知っている 60%
- 2. 知らない 39%

Q 13. 近年、自治体が独自に同性パートナーシップ制度を設けるという動きが広がっています。同性間のパートナーに、異性間のパートナーと同等の権利を認めることに対して、あなたはどのようにお考えですか。1 つ選んで番号に○をつけてください。

- 1. 賛成 57%
- 2. 反対 13%
- 3. わからない 30%

Q 14. 近年、「AI（人工知能）」の発展が話題になっていますが、このことについてあなたはどのように思いますか。1 つ選んで番号に○をつけてください。

- 1. 良い点の方が多い 47%
- 2. 悪い点の方が多い 9%
- 3. わからない 43%

Q 15. あなたは、ボランティア活動を行った経験がありますか。1 つ選んで番号に○をつけてください。

- 1. ある 42%
- 2. ない 57%

Q 16. 東京オリンピック・パラリンピックでは、一般のボランティアとして、ヘルスケアやテクノロジーといった専門の技術が必要とするボランティアが募集されています。あなたは、そのことをご存知ですか。1 つ選んで番号に○をつけてください。

- 1. 知っている 31%
- 2. 知らない 68%

Q 16 A. （「1. 知っている」と答えた方に）専門の技術が必要とする活動を一般のボランティアがやることについて、あなたはどのように思いますか。あなたの考えに近いものを 1 つ選んで番号に○をつけてください。

- 1. 社会の役に立てるので喜ばしいことだと思う 41%
- 2. 自分の成長につながる良い機会だと思う 20%
- 3. 責任が伴うので負担やリスクが大きいと思う 24%
- 4. 有償の専門家に委託するべきだと思う 11%
- 5. わからない 3%

次に右上の Q17 に進んでください



Q17. 日本の今後の発電方法について、あなたは、次のどの発電方法の割合を一番多くしたら良いと考えますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 火力発電 6%
2. 原子力発電 5%
3. 水力発電 7%
4. 地熱発電 8%
5. 太陽光発電 46%
6. 風力発電、波力発電 9%
7. わからない 18%

Q18. 2019年10月に、消費税率が10%に引き上げられる予定です。あなたは消費税率を10%に引き上げることに賛成ですか、それとも反対ですか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 賛成 25%
2. 反対 66%
3. わからない 8%

Q18A. (「2. 反対」と答えた方に)

なぜ、消費税率の引き上げに反対ですか。自分の考えに最も近いものを、1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 金銭面での負担が増えるから 32%
2. 景気が悪化することが心配だから 10%
3. 国の税収は今のままで十分だと思うから 2%
4. 増税した分の税金が適切に使われると思えないから 56%

Q19. 6月に、成人年齢を20歳から18歳に引き下げる改正民法が成立しました。他方、少年法の適用年齢を20歳から18歳に引き下げるかどうかについては、議論が続いています。あなたは、少年法の適用年齢を引き下げることに賛成ですか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 賛成 79%
2. 反対 9%
3. わからない 10%

Q20. 先日、「働き方改革関連法案」が成立しました。あなたは「働き方改革関連法案」の内容について、どの程度ご存知ですか。次のA～Eについて、それぞれ1つ選んで番号に○をつけてください。

A. 「残業時間の上限規制」について

1. よく知っている 10%
2. ある程度知っている 47%
3. あまり知らない 27%
4. ほとんど知らない 15%

B. 「年次有給休暇の取得義務化」について

1. よく知っている 12%
2. ある程度知っている 43%
3. あまり知らない 29%
4. ほとんど知らない 17%

C. 「勤務間インターバル制度」について

1. よく知っている 5%
2. ある程度知っている 18%
3. あまり知らない 38%
4. ほとんど知らない 38%

D. 「同一労働同一賃金」について

1. よく知っている 11%
2. ある程度知っている 38%
3. あまり知らない 28%
4. ほとんど知らない 23%

E. 「高度プロフェSSIONAL制度」について

1. よく知っている 7%
2. ある程度知っている 28%
3. あまり知らない 30%
4. ほとんど知らない 34%

Q21. あなたは普段、テレビ、新聞、インターネットで政治のニュースをどの程度見たり読んだりしますか。それぞれ1つ選んで番号に○をつけてください。

A. テレビで政治のニュースを見る

1. ほぼ毎日見ている 56%
2. 週に1回以上見ている 22%
3. あまり見ない 16%
4. まったく見ない 4%
5. わからない 1%

B. 新聞で政治の記事を読む

1. ほぼ毎日読んでいる 29%
2. 週に1回以上読んでいる 13%
3. あまり読まない 24%
4. まったく読まない 32%
5. わからない 1%

C. インターネットで政治のニュースを見る

1. ほぼ毎日見ている 31%
2. 週に1回以上見ている 19%
3. あまり見ない 23%
4. まったく見ない 24%
5. わからない 2%

Q22. あなたは自転車を持っていますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 持っている 75%
2. 持っていない 24%

Q23. あなたの住んでいる家には何台の自転車がありますか。□の中に数字を書き込んでください。(ない場合は、0台とお書きください。)

0台:11% 1台:25% 2台:28% 3台以上 35%

次のページのQ24に進んでください

Q24. あなたは、通勤・通学以外で友人や家族とよく出かけるのはどこですか。当てはまる地域を1つ選んで番号に○をつけてください。

1. さいたま市内 62%
2. さいたま市以外の埼玉県内 7%  
(市または場所の名: )
3. 東京都 20%
4. 出かける 9%

◆最後に、今回の調査結果を統計的に処理するために、いくつかおうかがいします。

F1. あなたは男性ですか、女性ですか。

1. 男性 45%    2. 女性 53%    3. 答えない 1%

F2. あなたのお年は満でいくつですか。あてはまる番号に○をつけてください。

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1. 10代 2%  | 5. 50代 16%  |
| 2. 20代 9%  | 6. 60代 18%  |
| 3. 30代 14% | 7. 70代 17%  |
| 4. 40代 20% | 8. 80歳以上 6% |

F3. あなたが最後に在籍した(または現在在籍している)学校を1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 中学校(旧制高等小含む) 6%
2. 高校(旧制中学含む) 30%
3. 高専・短大・専修学校 21%
4. 大学(旧制高専含む) 39%
5. 大学院(修士・博士) 3%
6. わからない 1%

F4. あなたは、さいたま市に住んでどのくらいになりますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 1年未満 1%
2. 2～3年未満 7%
3. 4年～10年未満 10%
4. 10年～20年未満 16%
5. 20年以上 65%

F5. あなたの現在のお住まいは、次のうちどれですか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 持ち家(一戸建て) 59%
2. 持ち家(マンションなどの集合住宅) 19%
3. 賃貸住宅(一戸建て) 1%
4. 賃貸住宅(マンション、アパートなどの集合住宅) 18%
5. 社宅・寮 1%
6. その他 1%

F6. あなたと同居している人は何人ですか。□の中に数字を書き込んでください。  
(一人暮らしの場合は、0人とお書きください。)

0人:11% 1人:25% 2人:24% 3人:21% 4人以上:17%

F7. あなたにはお子さんがいますか。

1. いる 71%
2. いない 29%

F8. ところで、あなたは、社会についての情報を何から得ていますか。もっとも利用しているものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. テレビ 51%
2. ラジオ 2%
3. 新聞 12%
4. インターネット 33%  
[LINE・Twitter(ツイッター)なども含む]
5. 家族や友人からの話 1%
6. その他 —

F9. あなたのお宅には、家庭用の固定電話がありますか。

(携帯電話のみの方は「2. ない」に○を)

1. ある 83%    2. ない 17%

F10. あなたは現在、スマートフォンを持っていますか。

1. はい 72%    2. いいえ 27%

F11. 最後に、あなたは、ご自宅で電話を使う場合、次のどれに当てはまりますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 固定電話だけを使う 8%
2. 携帯電話だけを使う 28%
3. 両方使うが主に固定電話 13%
4. 両方使うが主に携帯電話 42%
5. 両方とも同じ程度使う 6%
6. 両方とも使わない 2%

ご協力ありがとうございます。

この回答用紙は、返信用封筒(切手が貼られているもの)に入れ、8月17日(金)までに、ご返送ください。早めにご投函いただければ幸いです。

この調査について、ご意見やご要望があれば、下の余白にご記入ください。

さいたま市選挙管理委員会  
埼玉大学社会調査研究センター

(602/1,000) 60%

「さいたま市民の政治・選挙に関する意識調査」2019年6月

さいたま市選挙管理委員会では、埼玉大学社会調査研究センターと共同で、いまの政治への関心や選挙への対応などを有権者のみなさまにお聞きし、投票環境整備や効果的な啓発手法を考えるために活用させていただきたいと考えております。

さいたま市内10区の選挙人名簿から、無作為に1,000人の方を抽出したところ、あなた様にご協力をいただくことになりました。ぜひ、ご意見をお聞かせください。回答いただいた内容は、統計的に処理して「非常にある△△%」といった形で分析しますので、お名前や具体的に記入いただいた回答が外部に公表されることはございません。また、ご記入の調査票は細断し、情報管理を徹底してまいります。

この調査には、ご本人様にご回答ください。右上にある「整理番号」は、調査票が返送されたかどうかの確認を行うためのものです。お名前を書いていただく必要はありません。

申し訳ありませんが、6月21日(金)までに、同封の封筒にてご返送くださいますようお願いいたします。

お問い合わせ>埼玉大学社会調査研究センター(担当・菱山=ひしやま)  
9時～16時(月曜日から金曜日、祝日を除く)

Tel:048-858-3120 Fax:048-858-3115  
e-mail: ssr@gr.saitama-u.ac.jp

**この下の Q1 からお答えください**

**Q1. あなたが学生時代に経験した選挙に関する授業やイベント(行事)で印象に残っているものはありますか。あてはまるものすべて選んで○をつけてください。**

1. 学校での授業 17%
2. 選挙出前授業・模擬投票 2%
3. 明るい選挙啓発ポスターコンクール 5%
4. 生徒会・学級委員長などの選挙 41%
5. 国会・県議会などの議事堂見学 18%
6. 政治講座、選挙セミナー 1%
7. その他(具体的に ) 1%
8. 特にない 42%

**Q2. あなたは、国や地方の政治について、どの程度関心がありますか。1つ選んで番号に○をつけてください。**

1. 非常にある 14%
2. ある程度ある 57%
3. あまりない 25%
4. 全くない 3%

**Q3. あなたは、誰かと政治的な事柄を議論したり、話題にしたりすることがありますか。1つ選んで番号に○をつけてください。**

1. よくある 8%
2. ときどきある 40%
3. あまりない 31%
4. ほとんどない 20%

**Q4. あなたは、4月7日のさいたま市議選について、どの程度関心がありましたか。1つ選んで番号に○をつけてください。**

1. 非常にあった 9%
2. ある程度あった 35%
3. あまりなかった 40%
4. 全くなかった 16%

**Q5. あなたは、4月7日のさいたま市議選で投票しましたか。1つ選んで番号に○をつけてください。**

1. 投票した ⇒ Q6 (2ページ) へ 53%
2. 投票しなかった ⇒ Q14 (2ページ) へ 47%
3. 選挙権がなかった ⇒ Q16 (3ページ) へ 0%

## 「1. 投票した」と回答した人への質問

Q 6. 投票日当日に投票しましたか、それとも期日前投票（または不在者投票）をしましたか。

1. 当日投票をした 74%
2. 期日前投票（または不在者投票）をした 26%

Q 7. あなたは、どなたと投票に行きましたか。  
1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 1人で 43%
2. 家族と 55%
3. 知人等と 3%
4. その他（具体的に ）－

Q 8. あなたが、さいたま市議選で投票所に行った際に、どのような交通手段を利用しましたか。  
1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 徒歩 56%
2. 自転車、バイク 17%
3. 自家用車 26%
4. タクシー －
5. 公共交通（JR・私鉄・バスなど）2%
6. その他（具体的に ）－

Q 9. 投票所では待たずに投票できましたか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. すぐに投票できた 94%
2. 少し並んで待った 5%
3. かなり並んで待った 0%
4. 覚えていない －

Q 10. 投票した時間帯はいつですか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 午前中 49%
2. 午後（18時まで） 38%
3. 夕方（18時過ぎ～20時まで） 9%
4. 覚えていない 3%

Q 11. さいたま市議選で投票する人を決めたのはいつ頃でしたか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 選挙期間に入る前から（3月28日（木）以前） 22%
2. 選挙期間中（3月29日（金）から4月6日（土）） 52%
3. 投票日当日（4月7日（日）） 22%
4. 覚えていない 4%

Q 12. 今回のさいたま市議選について、あなたは、各候補者の政策の比較をしましたか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 政策の比較をした 48%
2. 政策の比較をしなかった 40%
3. わからない 9%

Q 13. あなたは、さいたま市議選で候補者を選ぶ時、どういう点を考えて投票する人を決めましたか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

1. 地元の利益を考慮して 35%
2. 自分と同じような職業の利益を考慮して 5%
3. 自分と同じような世代の利益を考慮して 17%
4. 候補者の政策や主張を考慮して 57%
5. 候補者の人柄を考慮して 30%
6. テレビや新聞、雑誌などで親しみを感じていたから 4%
7. 家族や知人に勧められたから 9%
8. その他（具体的に ） 7%

次のページの Q 16 に進んでください

## 「2. 投票しなかった」と回答した人への質問

Q 14. 投票しなかったのは、なぜですか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

1. 仕事や旅行など、他の用事があったから 40%
2. 病気などで体調が良くなかったから 10%
3. 投票に行こうと思ったが、忘れてしまったから 13%
4. どのように投票すればよいかわからなかったから 1%
5. 市議選挙があることを知らなかったから 5%
6. 投票するのが面倒だったから 17%
7. 投票所が近くになかったから 4%
8. 投票日時や投票場所がわからなかったから 1%
9. 投票所整理券（入場券）を紛失したから 0%
10. 政治や選挙に関心がなかったから 14%
11. 投票したいと思う候補者がいなかったから 32%
12. 政策がわからなかったから 22%
13. 自分の一票では選挙の結果は変わらないから 15%
14. 選挙には世の中を変える力はないから 10%
15. なんとなく 6%
16. その他（具体的に ） 7%

次のページに続きます。



## 〔投票しなかった人に〕

Q 15. あなたは、どういう状況ならば投票しようと思いますか。2つまで選んで番号に○をつけてください。

1. 投票所が近かったら 9%
2. 投票所までの無料バスなどが運行されたら 1%
3. 区内の投票所であればどこでも投票できたら 6%
4. 駅やショッピングセンターなどで投票できたら 29%
5. 期日前投票が早朝や午後8時以降もできたら 8%
6. 投票日の投票時間が延長されたら 2%
7. インターネットや郵送による投票ができたら 48%
8. その他（具体的に ） 14%
9. わからない 11%



ここからは全員への質問です。

Q 16. 今回のさいたま市議選で、さいたま市選挙管理委員会及び明るい選挙推進協議会等が投票参加の呼びかけを行いました。下の中であなたが見たり聞いたりしたものがあれば、すべて選んで番号に○をつけてください。

1. 市役所・区役所でののぼり旗やステッカー 18%
2. 横断幕・懸垂幕（駅や市・区役所） 11%
3. 市役所・区役所の電光掲示板 2%
4. 啓発ポスター（自治会掲示板等） 32%
5. 啓発チラシ（自治会回覧板） 16%
6. 選挙のごあんない（公共施設等に配置） 15%
7. 投票所整理券に同封されている啓発チラシ 17%
8. 市報さいたま 32%
9. 市の広報車（候補者の選挙運動自動車は含まない） 8%
10. 啓発物（ウェットティッシュ・ティッシュ） 1%
11. 街頭（駅前など）・イベントなどでの啓発キャンペーン 13%
12. ラジオスポット広告 0%
13. デパート・百貨店・市役所・区役所でのアナウンス 1%
14. さいたま市の選挙速報サイト（特設ホームページ） 4%
15. その他（具体的に ） 1%
16. どれも見たり聞いたりしなかった 21%
17. わからない 7%

Q 17. 今の日本の政治を実際に動かしているのは誰だと思いますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 国会議員 24%
2. 官僚 25%
3. 首相 22%
4. 国民一人一人 6%
5. 大企業 3%
6. マスコミ 4%
7. その他（ ） 3%
8. わからない 9%

Q 18. あなたが社会についての情報を得る際に、最も利用しているものは何ですか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. テレビ 46%
2. ラジオ 1%
3. 新聞 14%
4. インターネット 31%
5. 家族や友人からの話 1%
6. その他（具体的に ） 0%

Q 19. さいたま市・区選挙管理委員会では、普段から選挙に関する情報提供を行っておりますが、下の中であなたが見たり聞いたりしたものがあれば、すべて選んで番号に○をつけてください。

1. 選挙啓発動画 4%
2. さいたま市選挙管理委員会ホームページ 7%
3. 自治会回覧板（選挙啓発のチラシ） 31%
4. 区民まつりでの選挙啓発 5%
5. 区選挙管理委員会の政治啓発講演会 1%
6. 選挙・レベルアップクイズ ー
7. 明るい選挙啓発ポスターコンクール 5%
8. 模擬投票（出前講座） 0%
9. 選挙 BOOK（中学生向け選挙副読本） 0%
10. どれも見たり聞いたりしなかった 58%

◆最後に、今回の調査結果を統計的に処理するために、いくつかおかがいします。

F 1. あなたは男性ですか、女性ですか。

1. 男性 46%    2. 女性 53%    3. 答えない 1%

F 2. あなたの年齢について、あてはまる番号に○をつけてください。

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1. 10代 1%  | 5. 50代 18%  |
| 2. 20代 8%  | 6. 60代 13%  |
| 3. 30代 14% | 7. 70代 19%  |
| 4. 40代 21% | 8. 80歳以上 5% |

F 3. あなたが最後に在籍した（または現在在籍している）学校を1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 中学校（旧制高等小含む） 5%  
2. 高校（旧制中学含む） 30%  
3. 高専・短大・専修学校 26%  
4. 大学（旧制高専含む） 36%  
5. 大学院（修士・博士） 3%  
6. わからない 0%

F 4. あなたの現在のお住まいは、次のうちどれですか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 持ち家（一戸建て） 55%  
2. 持ち家（マンションなどの集合住宅） 20%  
3. 賃貸住宅（一戸建て） 2%  
4. 賃貸住宅（マンション、アパートなどの集合住宅） 20%  
5. 社宅・寮 2%  
6. その他（ ） 1%

F 5. あなたは、一人住まいですか。それとも家族等の方と同居されていますか。

1. 一人住まい 10%  
2. 家族等と同居 89%  
3. その他（ ） 1%

F 6. あなたにはお子さんがいますか。

1. いる 73%    2. いない 27%

F 7. あなたのご自宅から投票所へ行くのには、何分くらいかかりますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 5分未満 27%    4. 20分以上 3%  
2. 5～10分未満 44%    5. わからない 5%  
3. 10～20分未満 21%

F 8. あなたは、さいたま市に住んでどのくらいになりますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 1年未満 1%    4. 10～20年未満 18%  
2. 1～3年未満 5%    5. 20年以上 62%  
3. 3～10年未満 13%

F 9. あなたのお宅には、家庭用の固定電話がありますか。（携帯電話のみの方は「2. ない」に○を）

1. ある 75%    2. ない 24%

F 10. あなたは現在、スマートフォンを持っていますか。

1. はい 78%    2. いいえ 22%

F 11. 最後に、あなたは、ご自宅で電話を使う場合次のどれに当てはまりますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 固定電話だけ使う 8%  
2. 携帯電話だけ使う 37%  
3. 両方使うが主に固定電話 9%  
4. 両方使うが主に携帯電話 37%  
5. 両方とも同じ程度使う 7%  
6. 両方とも使わない 1%

ご協力ありがとうございます。

この回答用紙は、返信用封筒（切手が貼られているもの）に入れ、6月21日（金）までに、ご返送ください。早めにご投函いただければ幸いです。

この調査について、ご意見やご要望があれば、下の余白にご記入ください。

## 「政治に関する意識調査」2020年8月

埼玉大学社会調査研究センターでは、毎年、さいたま市の市民のみなさまを対象に調査を実施し、いまの政治や選挙などについて、ご意見をお聞きしています。調査の結果は、埼玉大学社会調査研究センターのホームページで公表するとともに、埼玉新聞などでも報道されております。

さいたま市内10区の選挙人名簿から、無作為に1,000人の方を抽出したところ、あなた様にご協力をいただくことになりました。ぜひ、ご意見をお聞かせください。回答いただいた内容は、統計的に処理して「〇〇に賛成△△%」といった形で分析しますので、お名前や具体的な回答内容が外部に出ることはありません。また、ご記入の調査票は裁断し、情報管理を徹底します。

この調査には、ご本人様にご回答ください。右上にある「整理番号」は、調査票が返送されたかどうかの確認や集計を匿名で行うためのものです。お名前を書いていただく必要はありません。

**誠に恐縮ですが、8月21日（金）までに、同封の封筒にてご返送くださいますようお願いいたします。**

お問い合わせ： 埼玉大学社会調査研究センター（担当：菱山＝ひしやま）  
月～金 午前9時から午後4時まで  
（8月13日～19日の間は夏期休暇となります）

TEL:048-858-3120 FAX:048-858-3115  
E-mail: ssr@gr.saitama-u.ac.jp

### この下の Q1 からお答えください

**Q1. あなたは、今の生活に満足していますか。  
1つ選んで番号に○をつけてください。**

1. 満足している 16%
2. ある程度満足している 62%
3. あまり満足していない 16%
4. 満足していない 6%

**Q2. あなたは、現在の政治に対してどの程度満足していますか。1つ選んで番号に○をつけてください。**

1. 大いに満足している 0%
2. だいたい満足している 17%
3. やや不満である 45%
4. 大いに不満である 31%
5. わからない 5%

**Q3. あなたは、安倍内閣を支持しますか。  
1つ選んで番号に○をつけてください。**

1. 支持する 6%
2. ある程度支持する 29%
3. あまり支持しない 27%
4. 支持しない 33%
5. わからない 5%

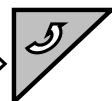
**Q4. あなたは、大野元裕・埼玉県知事を支持しますか。  
1つ選んで番号に○をつけてください。**

1. 支持する 8%
2. ある程度支持する 40%
3. あまり支持しない 22%
4. 支持しない 10%
5. わからない 20%

**Q5. あなたは、清水勇人・さいたま市長を支持しますか。1つ選んで番号に○をつけてください。**

1. 支持する 8%
2. ある程度支持する 35%
3. あまり支持しない 21%
4. 支持しない 11%
5. わからない 25%

次のページの Q6 に進んでください



Q 6. 日本の政治家（国会議員、地方議員、首長など）を考えた時、あなたは、政治家についてどんな印象を持っていますか。1 つ選んで番号に○をつけてください。

1. とても信頼できると思う 0%
2. ある程度信頼できると思う 19%
3. あまり信頼できないと思う 58%
4. 全く信頼できないと思う 18%
5. わからない 5%

Q 7. 今の日本の政治を実際に動かしているのは誰だと思いますか。1 つ選んで番号に○をつけてください。

1. 国会議員 11%
2. 官僚 44%
3. 首相 9%
4. 国民一人一人 7%
5. 大企業 6%
6. マスコミ 6%
7. わからない 15%

Q 8. 2016 年から「選挙権」が 18 歳になりました。18 歳という年齢で選挙権を持つのは早いと思いますか。それとも遅いと思いますか。1 つ選んで番号に○をつけてください。

1. 早い 32%
2. ちょうどいい 56%
3. 遅い 2%
4. わからない 9%

Q 9. 一方、選挙に立候補できる「被選挙権」は、都道府県知事と参議院議員では 30 歳以上、それ以外では 25 歳以上となっています。あなたは、被選挙権についてどうすべきだと思いますか。1 つ選んで番号に○をつけてください。

1. 選挙権と同じ 18 歳以上にすべきだ 8%
2. 引き下げるべきだが、選挙権と同じ年齢まで引き下げる必要はない 28%
3. 今のままでよい 57%
4. わからない 7%

Q 10. 少年法の適用年齢を 20 歳から 18 歳に引き下げるかどうかについては、議論が続いています。あなたは、少年法の適用年齢を引き下げることに賛成ですか。1 つ選んで番号に○をつけてください。

1. 賛成 81%
2. 反対 7%
3. わからない 11%

Q 11. 現在、さいたま市役所の庁舎は浦和区にありますが、さいたま新都心駅周辺への移転が望ましいとの答申がされています。あなたは、庁舎は移転すべきだと思いますか。1 つ選んで番号に○をつけてください。

1. さいたま新都心に移転すべきである 38%
2. 浦和区から移転すべきではない 37%
3. わからない 24%
4. その他の場所が良い（        区）1%

Q 12. 自治体が独自に同性パートナーシップ制度を設けるという動きが広がっています。同性間のパートナーに、異性間のパートナーと同等の権利を認めることに対して、あなたはどのようにお考えですか。1 つ選んで番号に○をつけてください。

1. 賛成 54%
2. 反対 14%
3. わからない 31%

Q 13. 近年、「AI（人工知能）」の発展が話題になっていますが、このことについてあなたはどのように思いますか。1 つ選んで番号に○をつけてください。

1. 良い点の方が多い 49%
2. 悪い点の方が多い 9%
3. わからない 42%

Q 14. あなたは、東京オリンピック・パラリンピックが来年開催できると思いますか。1 つ選んで番号に○をつけてください。

1. 開催できると思う 14%
2. 開催できないと思う 69%
3. わからない 17%



Q15. あなたは、学校の入学時期を9月に変更する「9月入学制度」に賛成ですか、それとも反対ですか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 賛成 34%
2. 反対 40%
3. わからない 26%

Q16. 新型コロナウイルスの感染拡大前と、感染拡大後では、あなたの暮らしはどの程度変わりましたか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 大きく変わった 26%
2. ある程度変わった 50%
3. あまり変わっていない 21%
4. まったく変わっていない 2%

Q17. 新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、あなたにとって変わったことはありますか。あてはまる事柄すべてに○をつけてください。

1. 経済状況 28%
2. 家族やパートナーとの付き合い方 25%
3. 友人との付き合い方 55%
4. 働き方 37%
5. 自宅での過ごし方や食生活 45%
6. 健康や衛生に対する考え方 66%
7. 人生の将来設計 14%
8. 人とのコミュニケーションの手段 48%
9. その他（具体的に： ） 8%

Q18. 新型コロナウイルスへの社会の対応の仕方について、あなたは経済と健康のどちらを優先すべきだと考えますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 経済を優先すべきだ 4%
2. どちらかといえば経済を優先すべきだ 22%
3. どちらかといえば健康を優先すべきだ 54%
4. 健康を優先すべきだ 20%

Q19. あなたは普段、テレビ、新聞、インターネットで政治のニュースをどの程度見たり読んだりしますか。それぞれ1つ選んで番号に○をつけてください。

A. テレビで政治のニュースを見る

1. ほぼ毎日見ている 70%
2. 週に1回以上見ている 16%
3. あまり見ない 9%
4. まったく見ない 4%
5. わからない 1%

B. 新聞で政治の記事を読む

1. ほぼ毎日読んでいる 33%
2. 週に1回以上読んでいる 10%
3. あまり読まない 17%
4. まったく読まない 39%
5. わからない 1%

C. インターネットで政治のニュースを見る

1. ほぼ毎日見ている 47%
2. 週に1回以上見ている 18%
3. あまり見ない 13%
4. まったく見ない 18%
5. わからない 2%

◆最後に、今回の調査結果を統計的に処理するために、いくつかおうかがいします。

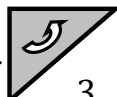
F1. あなたは男性ですか、女性ですか。

1. 男性 46%    2. 女性 54%    3. 答えない 1%

F2. あなたのお年は満でいくつですか。あてはまる番号に○をつけてください。

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1. 10代 1%  | 5. 50代 18%  |
| 2. 20代 9%  | 6. 60代 13%  |
| 3. 30代 12% | 7. 70代 19%  |
| 4. 40代 19% | 8. 80歳以上 9% |

次のページの F3 に進んでください



F 3. あなたが最後に在籍した（または現在在籍している）学校を1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 中学校（旧制高等小含む） 7%
2. 高校（旧制中学含む） 29%
3. 高専・短大・専修学校 23%
4. 大学（旧制高専含む） 35%
5. 大学院（修士・博士） 4%
6. わからない 1%

F 4. あなたは、さいたま市に住んでどのくらいになりますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 1年未満 1%
2. 2～3年未満 4%
3. 4年～10年未満 12%
4. 10年～20年未満 19%
5. 20年以上 63%

F 5. あなたの現在のお住まいは、次のうちどれですか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 持ち家（一戸建て） 55%
2. 持ち家（マンションなどの集合住宅） 21%
3. 賃貸住宅（一戸建て） 2%
4. 賃貸住宅（マンション、アパートなどの集合住宅） 18%
5. 社宅・寮 1%
6. その他 2%

F 6. あなたは、一人住まいですか。それとも家族等の方と同居されていますか。

1. 一人住まい 13%
2. 家族等と同居 86%
3. その他 1%

F 7. あなたにはお子さんがいますか。

1. いる 67%
2. いない 32%

F 8. ところで、あなたは、社会についての情報を何から得ていますか。もっとも利用しているものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. テレビ 44%
2. ラジオ 3%
3. 新聞 9%
4. インターネット 36%  
[LINE・Twitter（ツイッター）なども含む]
5. 家族や友人からの話 0%
6. その他 —

F 9. あなたのお宅には、家庭用の固定電話がありますか。  
(携帯電話のみの方は「2. ない」に○を)

1. ある 78%
2. ない 22%

F 10. あなたは現在、スマートフォンを持っていますか。

1. はい 82%
2. いいえ 18%

F 11. 最後に、あなたは、ご自宅で電話を使う場合、次のどれに当てはまりますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 固定電話だけを使う 9%
2. 携帯電話だけを使う 34%
3. 両方使うが主に固定電話 12%
4. 両方使うが主に携帯電話 38%
5. 両方とも同じ程度使う 6%
6. 両方とも使わない 1%

ご協力ありがとうございます。

この回答用紙は、返信用封筒（切手が貼られているもの）に入れ、8月21日（金）までに、ご返送ください。早めにご投函いただければ幸いです。この調査について、ご意見やご要望があれば、下の余白にご記入ください。